

# 実施報告書

【令和3年度】

グラスルーツからの  
日米関係強化に関する  
政府タスクフォース  
(各地各様のアプローチ)

2022年7月5日

外務省

# はじめに

我が国と米国は、自由、民主主義、基本的人権、法の支配などの基本的価値を共有する同盟国です。経済関係においても、日本企業による広範な対米投資は約6,790億ドル(2020年)に達しており、2年連続で世界第1位となりました。また、約97万人(2019年)の米国国内での良質な雇用を生み出し、米国経済の成長や各地域社会にも貢献してきています。

「グラスルーツからの日米関係強化に関する政府タスクフォース」は、このような経済面での強固な「協力」を基盤として、日米関係の重要性に対する理解を連邦レベルの議会及び政府関係者のみならず、米国各地の州・地方議会など政府関係者、さらにはより広く米国の一般国民にも行き届くような形で深めていくため、2017年に3回の会合を開催して行動計画を策定し、事業を立ち上げた後、2017年度から4回のフォローアップ会合(2020年度はコロナのため実施せず)を実施し、議論を重ねてきました。

引き続き、在外公館のみならず、関係省庁、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)及び独立行政法人国際交流基金等の関係団体や、在米日本企業及び日本経済団体連合会(経団連)等と連携し、米国の国民の中での日本企業の直接投資等を通じた雇用創出や我が国の文化・伝統に対する関心・理解の裾野を広げながら、日米両国の緊密な協力関係について、わかりやすく訴えかける草の根レベル(グラスルーツ)での活動を強化していくことが重要です。

2021年にはバイデン政権が誕生し、日米関係は新たな局面を迎えました。これを踏まえて、2021年には行政事業レビューを実施するとともに、同年のフォローアップ会合では行動計画2.0を新たに策定し、更なる交流・協力の強化に向けて取り組んできました。日米が重視する、コロナ対策、気候変動・エネルギー、イノベーション・科学技術といった視点に留意しつつ、本取組を通してさらなる日米の連携を促進していくことが重要と考えています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度も草の根レベルの取組を実施するには非常に困難な状況が続きましたが、令和2年度から本格的に取り入れたオンラインを通じた活動を柔軟に活用し、経済・社会活動の再開状況に合わせ、対面と組み合わせたハイブリッド型のイベントを実施するなど様々な工夫を凝らした案件形成が行われた一年となったと考えております。この経験は令和4年度以降の案件実施において、更に活用していきたいと考えています。

本報告書は、このような背景の下、本タスクフォースの方針に基づき、令和3年度に米国各地において実施した様々な関連の取組をまとめたものです。

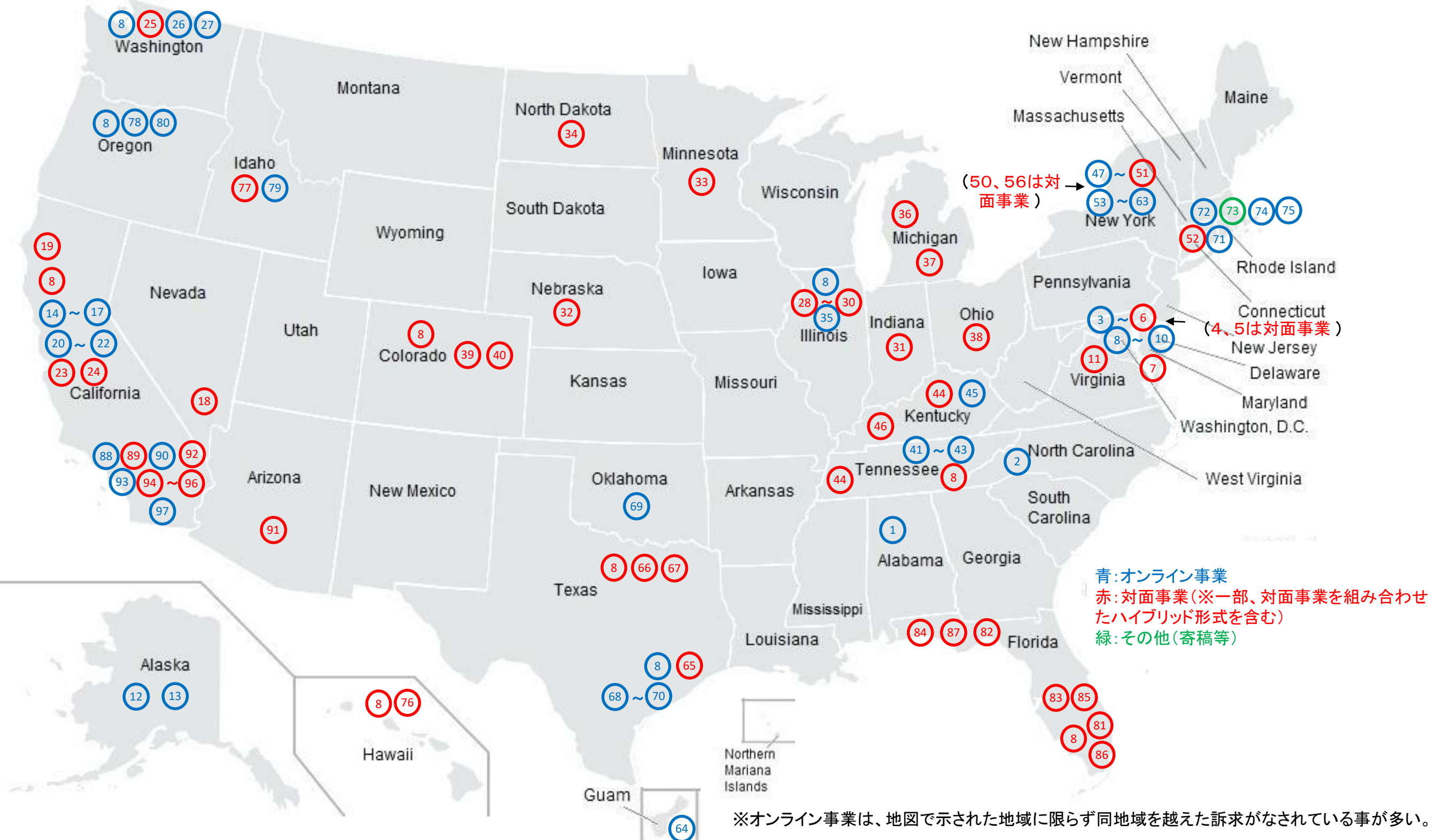
実施期間	: 令和3年度
実施件数	: 97件
のべ参加人数	: 約35万人

# 目次

在アトランタ総領事館	P1
在アメリカ合衆国大使館	P3
在アンカレジ領事事務所	P12
在サンフランシスコ総領事館	P14
在シアトル総領事館	P25
在シカゴ総領事館	P28
在デトロイト総領事館	P36
在デンバー総領事館	P39
在ナッシュビル総領事館	P41
在ニューヨーク総領事館	P47
在ハガツニヤ総領事館	P64
在ヒューストン総領事館	P65
在ボストン総領事館	P71
在ホノルル総領事館	P76
在ポートランド領事事務所	P77
在マイアミ総領事館	P81
在ロサンゼルス総領事館	P88

# 令和3年度の米国各地における グラスルーツの取組

実施件数: 97件  
延べ参加人数: 約35万人



### 日時等



- 実施日時: 2021年4月20日(火)
- 実施場所: Zoom (オンライン)
- 関係機関: アラバマ大学バーミングハム校
- 訴求対象・参加者数: 学生、現地の日本食、日本文化に関心のある層。約50名参加。
- YouTube視聴回数: 75回 (2022年6月24日時点)
- リンク: <https://www.youtube.com/watch?v=uVkeMJILyIE>



公邸料理人の源川氏

- オンラインにて、アラバマ大学バーミングハム校の学生と在アトランタ総領事館公邸料理人をつなぎ、皆と一緒に桜餅を作るデモンストレーションのワークショップを行った。
- 材料やレシピは事前に参加者に送付し、当日は画面上にて公邸料理人の様子を見ながら各自が作れるように工夫した。
- 時折、領事館職員や公邸料理人の解説や豆知識も入れ説明した。また、参加者はリアルタイムでチャット機能で質問を入力し、それを見てすぐに答えられるような体制で実施した。



- 公邸料理人のワークショップを対面で行おうとする場合、スペースの問題等もあり数人規模の開催が考えられるが、オンラインで行ったことにより人数制限を設けることなく開催することができた。また、ワークショップの様子は後日YouTubeで動画配信し、日本食や和菓子に関心のある方は誰でも自由に閲覧できるようにした。在アトランタ総領事館で行っているSNSでも動画を共有し、一般にも広く展開された。和食を通じて日本をより身近に感じていただけるイベントを実施することができた。



### 概要

### 効果

(注)本事業はグラスルーツからの日米経済強化プロジェクト予算による事業ではないが、案件の趣旨・目的はグラスルーツに合致するもの。

## 日時等



**JBusiness Forum**  
Registration is available between  
Oct. 25 and Nov. 9 at:  
[languages.uncc.edu/JBusiness](https://languages.uncc.edu/JBusiness)

When you register at the link above, you will receive a Zoom link to participate.  
Contact: [languages@uncc.edu](mailto:languages@uncc.edu)

The Business Forum will feature the following speakers:  
• United Nations, Geneva, Switzerland  
• International of Japan Bank  
• Tokyo Gas America  
• Asahi Kasei  
• Detlef Dohmen, CEO, Asahi Kasei  
• Detlef Dohmen, CEO, Asahi Kasei

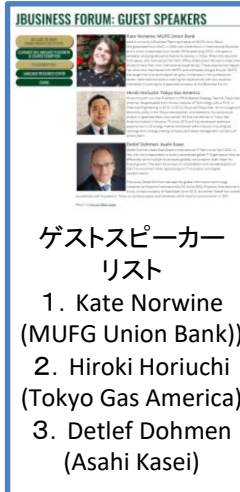
WHEN:  
**NOV 12**  
3:30-5:00 pm

Organized by: Japanese Studies Program of Charlotte  
Co-sponsors: The Consulate-General of Japan in Atlanta  
2021 American Society of North Carolina (ASNC)  
The Japan Foundation

UNCC Charlotte  
UNCC Charlotte  
UNCC Charlotte

- 実施日時: 2021年11月12日(金)
- 実施場所: Zoom (オンライン)
- 関係機関: ノースカロライナ大学シャーロット校、ノースカロライナ日米協会
- 訴求対象・参加者数: 日本語を学習する学生。約130名参加。
- リンク: <https://languages.uncc.edu/JBusiness>

## 概要



**BUSINESS FORUM: GUEST SPEAKERS**

1. Kate Norwine (MUFG Union Bank)  
2. Hiroki Horiuchi (Tokyo Gas America)  
3. Detlef Dohmen (Asahi Kasei)

- 日本語を学んでおり、日本企業での就職を希望している学生を対象とし、**米国にある日本企業からスピーカーを呼んで講演**してもらい、後輩にアドバイスをしてもらう機会とした。また数人の学生も**プレゼンターとして自身が考えるプロジェクトを発表する場**とした。
- オンラインで行ったため、開催場所だけでなく西海岸やハワイなど全米を対象とした。
- 日本企業や日本関連企業にも呼びかけ、**企業にとって有益な人材雇用促進につながる機会**とした。
- イベントのテーマは「**日本における多様性と受容性について**」であり、働き方やその文化背景を学んだ。

## 効果



**Featured Guest Speakers**

1. United Nations, Geneva, Switzerland  
2. International of Japan Bank  
3. Tokyo Gas America  
4. Asahi Kasei  
5. Detlef Dohmen, CEO, Asahi Kasei

**Event Schedule**

1300: Opening and Opening Remarks  
1310: Welcome Remarks  
1320: The Business of Japan and American Law Companies: Detlef Dohmen, CEO, Asahi Kasei  
1330: Welcome to Asahi Kasei  
1340: Welcome to Tokyo Gas America  
1350: Welcome to United Nations  
1400: Closing and Remarks  
1410: The Future of Japan (ASNC & ASNC)



**Business Forum**

The Business Forum will feature the following speakers:  
• United Nations, Geneva, Switzerland  
• International of Japan Bank  
• Tokyo Gas America  
• Asahi Kasei  
• Detlef Dohmen, CEO, Asahi Kasei



**STUDENT PRESENTATION ABSTRACTS**

The Business Forum will feature the following speakers:  
• United Nations, Geneva, Switzerland  
• International of Japan Bank  
• Tokyo Gas America  
• Asahi Kasei  
• Detlef Dohmen, CEO, Asahi Kasei

- 日本語を学んでいる学生にとって、日本企業等で働いている人の話を聞く機会は刺激となり、より上級レベルの日本語クラスを受講したり、日本関連企業への就職を目指すきっかけを作ることができた。

## 日時等



イベントフライヤー

- 実施日時: 2021年6月25日(金)
- 実施場所: オンライン形式(Zoom配信)
- 訴求対象: 日米の研究者、政府関係者、製薬企業等
- 開催規模: 約130人

## 概要



満屋裕明博士



Yelena Janjigian博士



峰宗太郎博士

- 日米のがん研究における協力強化を目的に、NIH(アメリカ国立衛生研究所)・AMED(日本医療研究開発機構)の協力の下、「**がんと感染症**」をテーマに、**日米の著名ながん研究者より、最先端の研究内容、研究資金、研究キャリア等に関する講演**及び視聴者参加型の**グループディスカッション**を行った。
- **Yelena Janjigian博士**(胃がん研究者)、**峰宗太郎博士**(ウイルス学、免疫学研究者)、**満屋裕明博士**(ウイルス学者、HIV治療薬の開発者)、**上野直人博士**(乳がん研究者)、**Elad Sharon博士**(がん、感染症、免疫学研究者)、**Sakai Shunsuke博士**(ウイルス学、免疫学研究者)、**William Timmer博士**(免疫学研究者)を招き、**各研究者の専門分野**を中心に、**講演・ディスカッション**を実施。

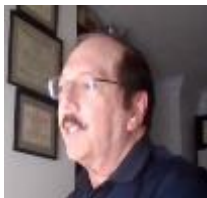
## 効果



Elad Sharon博士



Sakai Shunsuke博士



William Timmer博士

- 参加者からは「**最高のがん研究イベントの一つ**」、「各トピックが非常に興味深かった」、「日本からアクセスできるのがありがたかった」、「グループディスカッションが有益だった」といった意見があげられたほか、イベントのアンケート結果ではイベント全体の満足度について、「満足」「おおむね満足」の合計が**9割以上**、今後**同様のイベントへの参加希望も多く寄せられた**。
- 本イベント内容は、講師陣と連名で、米国の**医学誌「World Journal of Oncology」**に論文として掲載された。(2021.12)
- **日米のがん研究における協力促進に資するイベント**となった。

## 日時等

THE RAMMYS 2021



当日の様子①

- 実施日時: 2021年9月19日(日)
- 実施場所: ワシントンDCコンベンションセンター
- 訴求対象: シェフなどのレストラン関係者や、ディストリビューターなど、フードインダストリー関係者
- 開催規模: 1,800人

## 概要



当日の様子②

- 新型コロナウイルスの関係で、2020年はオンラインで開催されたが、2021年は**1年ぶりにコンベンションセンターでインパーソンでのレストラン協会主催イベント**が開催された。
- イベント内のアワードでは、ワシントンDCのベストレストランやバーなどが表彰されるとともに、**DC市長が出席して祝辞**を述べるなど、現地の食関係イベントでは最大規模のもの。
- 日本大使館もブース出展を行い、東日本大震災発生から10年の節目として、被災地からのビデオメッセージを放映するとともに、**岩手の和牛、宮城の銀ザケ、福島**の日本酒などを提供。



当日の様子③



当日の様子④

- ブースで提供された**銀ザケ**や**日本米(ササニシキ)**については、**現地販売業者における取り扱いにつながった。**
- 他の大使館もブースを出していたが、日本大使館のブースは**用意した1,500貫がイベントの半分に満たない時間ですべてなくなるなど好評**を博した。
- アワードの様子は、**NHK(BS)でも放映。**
- 主催者であるレストラン協会からも、日本のブースは著しく好評であった旨レターが送付されるなど、コロナにより苦境となっている**ワシントンDCのレストラン業界との草の根の関係強化に寄与する事業**となった。

## 効果



提供された銀ザケ



提供された日本米



## 日時等



レセプションの様子

- 実施日時: 2021年10月4日(月)
- 実施場所: ワシントンDC、オンライン
- 訴求対象: 米国政府関係者、ワシントンDCのシェフ、レストラン関係者等
- 実施規模: 60名(レセプション参加者)



日本産米プロモーションの様子①



日本産米プロモーションの様子②



紹介した食材



開設したHP

- 震災復興レセプション: 大使公邸においてトモダチ作戦関係者などを招待し、被災地の食材の提供と、ルース元駐日大使などによるパネルディスカッション、3県知事や生産者からのお礼のビデオメッセージなどを放映し、**震災復興へのお礼と合わせた食のプロモーションを実施**(60名参加、動画再生回数約900回)。
- 日本産米プロモーション: 現地の**ハイエンドシェフによる日本産米に適した料理を紹介するコンテンツを作成**し、現地シェフ等に訴求。併せて現地シェフ・マスメディア等を招待した**ディナーイベントを開催**し、**コンテンツ内の料理を提供して日本産米の普及・啓蒙を図った**。
- 食専門メディアの開設: 米国レストラン関係者を対象に**日本産食材の魅力**を訴求する**ウェブサイト**(Premium Japanese Ingredients)及び**Instagram**を立ち上げ、**日本産食材取扱業者の紹介、ビデオ等**を通じて**日本産農林水産品の普及・啓蒙**を行った。

## 概要



報道の様子①



報道の様子②

- 震災復興レセプションは米日協会のSNSなどを通じて、米国内に幅広く発信されたほか、TVや新聞など、**複数のメディアでも取り上げられた**。
- **共同通信**(日英)、**Washington Citypaper**(地元タウン誌)に取り上げられたほか、**日本産米ビデオ再生回数は3か月で5,000回以上**となるなど、**日本産米の普及に大きな効果を得た**。

## 効果

## 日時等

CSIS

- 実施日時: 2021年10月7日(木)
- 実施場所: ワシントンDC(オンライン)
- 訴求対象: 米、日、豪を含む全世界
- 開催規模: 当日はリアルタイムで数百人が視聴し、事後的に1,800回以上YouTubeで再生

## 概要



ヒルマン  
CSISシニアフェロー



チティック  
豪州外務貿易省  
第一次官補

- CSISのジョナサン・ヒルマン・シニアフェローがモデレーターとなり、豪州外務貿易省第一次官補、米国際開発金融公社CEO、OECD金融企業局長そして日本外務省が、**インド太平洋地域における三か国インフラ協力**に関し議論し、パラオの海底ケーブル等具体的な協力案件について発信。
- 地域の安定した発展のため、**質の高いインフラ投資に関するG20原則、ブルドット・ネットワーク**等に触れつつ、受益国の声を吸い上げ、プロジェクトに柔軟性を持たせながら日米豪の協力を進めていくことの必要性を議論。

## 効果



ケインOECD  
金融企業局長



マーチック  
米国際開発金融公社  
CEO

- バイデン政権発足後、政策面での議論に焦点が当たっていたところ、**日本企業が尽力した海底ケーブル事業等、民間企業と連携したより具体的なプロジェクトや日米豪の協力のあり方**について議論し、発信することができた。
- また、**日米豪印**における連携や一帯一路との比較等、**戦略的観点からの議論**もなされ、発信効果の高いセミナーとなった。
- 多くの視聴があったことに加え、Financial Review紙にも、本イベントの内容に関し、“What Australia is doing to counter China’s digital ambitions”と題して、**三か国の協力や日本の民間企業の貢献**について紹介された。

## 日時等



フライヤー

- 実施日時: 2021年10月10日(日)
- 実施場所: メリーランド州ハワード郡コロンビア地区
- 訴求対象: ハワード郡在住の米国人
- 開催規模: 300人 (COVID対策のため、事前予約制とし、入場者を最大300人に制限。)

## 概要



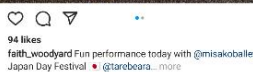
当日の様子①



当日の様子②

- **メリーランド州・神奈川県の姉妹州協定締結から40周年**を記念し、両地域の交流事業を実施。
- **メリーランド州商務省関係者**や**ハワード郡長事務所関係者**らが出席する等地元行政との関係深化の場ともなった。
- 日系企業による**日本食の紹介・販売**の他、生け花、茶道の体験型デモンストレーション、空手、剣道、日系バレエ団によるパフォーマンス等を対面で実施。
- メリーランド州ハワード郡は、近年、中国・韓国からの移民が多く、日本文化への馴染みが薄い中、ハワード郡の居住者が日本食や日本文化に触れる機会ともなった。

## 効果



参加者の投稿

- アンケート結果では、74.7%の参加者が「大変満足した」、24.2%が「満足した」と回答。さらに、このイベント参加後、日本への好感度が高まったかという質問には、「大変高まった」が87.4%、「高まった」が10.5%となり、**合計97.9%の参加者が肯定的な反応**を示した。
- 初めて大使館の事業に参加したとの回答は86.3%となり、これまでリーチアウトできなかった層へのアプローチが実現した。
- 本イベントをきっかけに、**地域ビジネスの活性化を目指すワーキンググループ(州上院議員が議長)へ日系企業が初めて招待**された。



日時等

- 実施日時：2021年12月～2022年3月
- 関係機関：全米日米協会連合(NAJAS)、各地日米協会
- 訴求対象：各地有力者・若年層を含む一般参加者。
- 開催規模：各イベントにつき40～1,000名程度



テネシー日米協会



DC日米協会



ダラス・フォートワース協会①



ダラス・フォートワース協会②



ハワイ日米協会

- **全米各地の11地域で、各地域の特色や関心にあわせたトピック**をテーマに、**日米関係に関する広報文化プログラム**を各地日米協会等が主催で実施。

① 各日米協会主催の広報文化プログラム

12/3	テネシー日米協会	女性活躍	75名
1/18	DC日米協会	日米関係	1,173名(オンライン)
2/24	ワシントン日米協会	女性活躍	35名(オンライン)
3/2	北カリフォルニア日米協会	デジタル経済	231名
3/7	コロラド日米協会	日米経済	82名
3/9	ダラス・フォートワース日米協会	サプライチェーン	72名
3/14	オレゴン日米協会	女性活躍	63名(オンライン)
3/16	ハワイ日米協会	日米関係	60名
3/17	シカゴ日米協会	日米関係	43名(オンライン)
3/22	ヒューストン日米協会	エネルギー	60名(オンライン)

② 日米交流プログラムが少ない地域でのプログラム

- 3/26 マイアミでの日米協会立ち上げに意欲を有する有志25名が意見交換

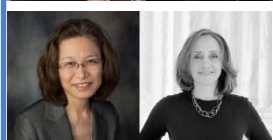
- 2021年4月の日米首脳会談で立ち上げた「日米競争力・強靱性(コア)パートナーシップ」において日米共通の優先分野として取り上げられた**デジタル、サプライチェーン、エネルギー**等の日米の取組を草の根レベルで米国各地に発信する取組となった。
- ほぼ全てオンラインでの実施となった2020年度から、2021年度は半数が対面に戻り、**日米草の根交流の貴重な機会**となった。また、各地の日系企業、商工会議所、市政府ビジネス担当が招待されるなど工夫が凝らされ、**日米ビジネス交流を深める機会**となった。
- **参加した米ビジネス関係者からは登壇したパネリストらを高く評価する声があった**他、**各地有力者や若年層等が、日本について新しく学ぶ機会**となった。また、各地のJET同窓生等の日本に親しみを持っている層に、更に理解を深めてもらう機会となった。

概要

効果



カトラー副所長



ゲストスピーカー



エマニュエル駐日大使のツイート

## 日時等

- 実施日時: 2022年1月12日～2月18日(全6回・各回75分)
- 実施場所: オンライン形式(Zoom)
- 訴求対象: 貿易関連業務に従事する日本人女性

## 概要

- テーマ: **通商交渉に必要なスキルと、交渉関係セクター(民間企業、議会、メディア)とより効果的な連携をはかるための方法を学ぶ。**
- 態様: ウェンディ・カトラー・アジア・ソサエティ政策研究所副所長(元米国次席通商代表代行、元TPP米国日本担当交渉官)がモデレーターとなり、同氏やゲストスピーカーが講演し、参加者と質疑応答。
- **元通商代表部(USTR)職員や元通商担当議会補佐官**(現在は、民間企業、法律事務所、大学、シンクタンク等で活躍)、**国務省職員、通商担当記者等**が、各自のキャリアと経験を踏まえて、貿易関連業務に従事する際の留意点やキャリアパスについて講義。特別ゲストとして、**ラーム・エマニュエル駐日米国大使**が、シカゴ市長の経験を踏まえて講義。活発な意見交換が行われ、参加者のエンパワメントがはかられた。

## 効果

- 事業実施後にアジア・ソサエティの**ウェブサイト**に**本プログラムの記事を掲載**(<https://asiasociety.org/policy-institute/2022-japans-emerging-female-trade-leaders-program>)。
- **ラーム・エマニュエル駐日大使がツイート**し、日本語・英語合わせて456いいね、67リツイートの反響があった(<https://twitter.com/USAmbJapan/status/1494564724297682963?s=20&t=tBHooWb7i7KQPcJSXvv5qQ>) (3月31日時点)。
- 事業後アンケートでは、回答者10人中4人が期待を上回る内容、6人が期待どおりの内容と評価。同10名中9名が各回で扱うテーマ選定のバランスが良かったと回答、1名がより貿易に特化した内容を希望。実施後、カトラー氏は、**参加者の積極的な姿勢に感銘を受けた、ゲスト・スピーカーからも同様の反応があり、結果に手応えを感じていると評価。**

## 日時等

## Culture Clash?

Mez-cá-mo-ri and Mescal have been a match made in heaven since their respective first appearances. Now it's time to see how they mix.

Over the last month, we have explored the cultural similarities between Mez-cá-mo-ri and Clavel's mescal as part of a celebration of mezcal, agave, and more! We're so!

mez-ca-mo-ri



イベントフライヤー



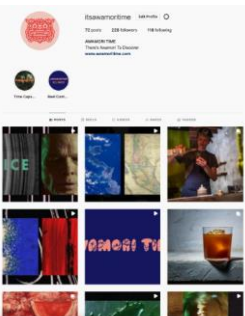
PR動画①



PR動画②



Clavelとの連携



SNS発信の様子

- 実施日時：2022年2月4日～3月31日
- 実施場所：オンライン
- 訴求対象：米国一般市民
- 開催規模：5,000名（HP・SNS等でのリーチ数）

## 概要

- 昨年に引き続き令和2年度に作成した琉球泡盛を中心に沖縄PRを目的とした、AwamoritimesのホームページやFacebook、Instagram等のSNSを活用し、**泡盛などの米国における認知度向上に向けたプロモーション**を実施。
- 令和3年度は、**既に米国で高い知名度を誇るメキシコのメスカルと連携**し、その共通点や違いにフォーカスをしたビデオやホームページを作成。
- メスカルのバーとして全米でも有数の人気を誇るボルティモアの「Clavel」と連携して、新たにカクテルレシピを考案。

## 効果

- ホームページやSNSアカウント、Youtubeの動画配信に対して合計約5,000のアクセスや視聴数があるなど、沖縄復帰50周年のタイミングを前に多くの米国市民に対して沖縄産品の魅力を発信。
- JETROが実施したClavelにおけるテイスティングイベントとも連携して情報発信を行うことで、効果的なPRを実現。その結果、**複数のボルティモアのバーにおいて、泡盛の新規の提供開始**につながった。
- メキシコのメスカル協会ともネットワークが形成されるなど、**米国における蒸留酒関係者との協力強化にも寄与**している。



イベントフライヤー

## 日時等

- 実施日時: 2022年2月11日(金)
- 実施場所: 海兵隊大学(バージニア州クワンティコ)
- 訴求対象: 海兵隊大学関係者(在日米軍経験者、学生を含む)、地元在住の在日米軍経験者、退役軍人
- 開催規模: 約80名(対面参加)、オンライン配信



当日の様子①



当日の様子②



当日の様子③

- **在日米軍経験者の多い地域コミュニティ**に対して、日米関係及び協力に関する講演等を通じて、**ネットワーク構築の機会**とし、**強固な日米同盟及び経済面を含む草の根レベルでの相互理解促進の基盤**を提供するもの。
- 日本勤務者の多い海兵隊の内部教育を司るクワンティコに所在する海兵隊大学において、笹川平和財団USAが海兵隊と協力して実施した。
- **海兵隊大学校長及び在米国日本大使館防衛駐在官**による講演に加え、パネルディスカッションを実施し、インド太平洋地域における日米関係、安全保障問題について議論した。**経済安全保障の観点から、サプライチェーンを過度に特定の国に依存することは安全保障上の脅威となり得ることを議論**。

## 概要



当日の様子④

- **クワンティコでの初めての実施**となり、海兵隊大学の全面協力により、課程によっては本イベントを課目の一部として設定したり、オンライン参加の便宜を図るなどの配慮を得て、海兵隊大学に所在する多数の米軍・留学生が参加した。軍事面のみを見るのではなく、**経済面を含めた安全保障を総合的に考察する必要があるとの多数の意見**があり、**経済を含めた安全保障の重要性について日米間の認識の共有**ができた。
- **対面開催によるネットワーク構築・強化**につながり、コロナ禍においても状況を注視しつつ、対面での開催の重要性が改めて認識された。
- **大使館SNS**により発信を行ったところ、リツイートを含め**平均の数倍である約120「いいね」の反響**があった。

## 効果



SNS発信

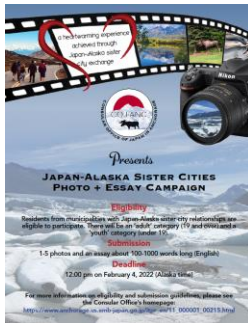
## 日時等



イベントフライヤー①

- 実施日時: 2021年10月～2022年3月
- 実施場所: オンライン(日本アラスカ姉妹都市(8組))
- 訴求対象: 日本アラスカ姉妹都市住民(一般・学生)
- 開催規模: 約80名(応募者31名、審査員18名、プロモーション支援著名人4名、その他行事促進支援の姉妹都市関係者30名)

## 概要



イベントフライヤー②

- 日アラスカの姉妹都市地域に居住する市民を対象に、姉妹都市関係をテーマとしたフォト・エッセイ・キャンペーンを実施。2021年1月に設立した「日アラスカ姉妹都市フォーラム」を活用しつつ本行事を実施。
- 2021年10月～2022年3月の募集期間中、**在アラスカ著名人(州・市議会議員、大学教授等)に模範作品**を作成してもらいホームページ等に掲載し、応募を促進。
- 在アンカレジ領事事務所から**日アラスカ交流に携わる市民にキャンペーン広報を依頼**。



応募作品



審査会の様子



受賞作品

- **合計31作品の応募**が得られた(一般18作品、学生13作品)。
- アンケートでは、二国間関係や地球規模課題のほか、**科学技術等のイベント**を期待する意見も寄せられ、**将来の日アラスカ関係を担う学生やアラスカ州民の日米経済関係への関心**を高めることができた。
- **審査員からも「感動的作品が多かった」「今後の交流への意欲が湧いた」との好意的な意見が多数寄せられた**。
- **著名人による作品及び入賞作品を集めた作品集ブックレット**を作成の上、姉妹都市関係者に配布し、今後のさらなる交流促進に役立てた。

## 効果



## 日時等

イベント  
フライヤー

## 決議文書



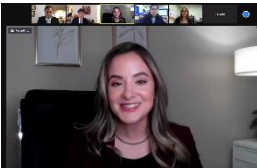
## 会議の様子

- 実施日時：2021年12月10日（金）
- 実施場所：オンライン
- 訴求対象：日本アラスカ姉妹都市学生（高校生・大学生）
- 開催規模：83名（学生55、オブザーバー16、通訳8、事務所職員4）

## 概要

- 日アラスカの姉妹都市に居住する学生が参加し、両地域の姉妹都市交流の促進について議論。出席者学生の意見を反映した**決議文書を作成し、決議文書は2021年に設立した日アラスカ姉妹都市フォーラムの活動に反映**させる予定。
- 在アンカレジ領事事務所作成の議題案を基に、出席する学生が逐次通訳を介してそれぞれのコメントを発表した。
- 本会議と平行してブレイクアウト・ルームで「意見交換セッション」を実施し、「**姉妹都市青年フォーラム**」の設置を決定。

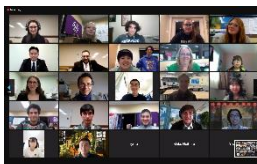
## 効果



参加学生の様子①



参加学生の様子②



参加学生の様子③

- 討議セッションでは各議題につき、**学生から姉妹都市交流促進の前向きな提案**が出された。今後実施希望の行事・プログラムに関する議題では創造性に富んだ交流行事・プログラムが数多く提案された。また、環境問題、家族、人種、精神衛生等に関して、**社会の様々な問題に関する若者の主張**が述べられるなど、両地域の学生にとって貴重な国際会議参加の経験となった。
- アンケートでは、二国間関係や地球規模課題のほか、**経済協力や科学技術といったイベント**を期待する意見も寄せられ、**将来の日アラスカ関係を担う学生らの日米経済関係への関心**を高めることができた。

# 日・カリフォルニア姉妹都市ネットワークイベントの開催 【サンフランシスコ総領事館】

## 日時等



3者共催により開催

- 実施日時: 2021年5月14日(金)、10月22日(金)
- 実施場所: オンライン形式(日本及びカリフォルニア州内の姉妹都市関係者等に周知)
- 訴求対象: カリフォルニア州内に所在する日本との姉妹都市関係者等(市政府及び姉妹都市協会等)
- 開催規模: それぞれ約200名



トニ・アトキンス仮議長からのビデオメッセージ

- カリフォルニア州における日本との姉妹都市活動の活性化を目的として関係者間の連携を企図する非営利法人「日・カリフォルニア姉妹都市ネットワーク」とサンフランシスコ総領事館及びロサンゼルス総領事館の共催により、オンラインによるワークショップイベントを開催。
- 5月のイベントでは、**サンディエゴ市-横浜市の姉妹都市交流**に焦点を当てたことから、**カリフォルニア州上院のトニ・アトキンス仮議長からビデオメッセージ**の提供を受けた。
- 10月のイベントでは、**経済交流**に焦点を置き、クレセントシティ市・デルノルデ郡及び陸前高田市により**姉妹都市交流から発展した経済的コラボレーション**(両市の交流のストーリー(東日本大震災に伴う津波により陸前高田市から流された実習船(かもめ号)がクレセントシティに流れ着いたことを契機に交流開始)を基にしたビールの商品化や陸前高田市の塩を用いたチーズの商品化)の**好事例が共有**された。

## 概要



ブレイクアウトセッションの様相

- 日頃個別に活動している姉妹都市関係者に対してネットワーキング及びディスカッションの機会を提供したことにより、参加者が多くの共通課題を抱えていることが共有され、**今後の姉妹都市間の横の連携に向けた機運が一層醸成**された。
- また、元JET参加者からも多くの参加登録があったほか、カリフォルニア州内にとどまらず日本からも21の自治体から参加登録があるなど、**回を重ねるごとにコミュニティに広がり**ができています。
- 本イベントを軸として「日・カリフォルニア姉妹都市ネットワーク」の活動が展開されることにより、カリフォルニア州における日本との姉妹都市活動がより活発となれば、**草の根の日米関係の強化に繋がっていく**と考えられる。

## 効果



## 日時等



当日のシンポジウムの様子



イベントで挨拶する前田総領事

司会進行のスタンフォード大学  
リチャード・ダッシャー所長

## EMERGING LEADER COMPANY SPEAKERS

Emerging Leaderとして  
表彰された2社

## SHOWCASE COMPANY SPEAKERS

Innovation Showcaseに選出さ  
れた日本発スタートアップ5社

- 実施日時: 2021年7月8、13、15日
- 実施場所: Zoomオンライン会議
- 関係機関: 北カリフォルニア・ジャパンソサエティ、スタンフォード大学米国アジア技術経営研究センター、サンフランシスコ総領事館
- 訴求対象: シリコンバレー及び日本のスタートアップ企業関係者、投資家、産学交流関係者、大学関係者等
- 開催規模: 7月8日144名、7月15日133名

## 概要

- 日米間の相互理解を深めることを目的とした非営利組織である北カリフォルニア・ジャパンソサエティとスタンフォード大学の共催で、破壊的イノベーションを起こすスタートアップを取り上げるイノベーションアワードシンポジウムを開催した。
- 日本と米国のスタートアップ企業から**相互の市場にインパクトを与え活躍した各1社**(日本: 衛星軌道上のスペースデブリ(宇宙ごみ)除去サービスを手掛けるAstroscale社、米国: ヘルスケア・遺伝子テクノロジーを手掛けるColor社)が選出された。
- また、日本発で米国進出を目指すスタートアップ企業5社(駐車場予約アプリを提供するakippa社、多言語チャットボットを提供するBespoke社、微生物のシングルセルゲノム解析技術を開発するbitBiome社、高度なAI解析を利用したIoTシステムを構築するプラットフォームを開発するIdein社、ミトコンドリア製剤を開発するLUCA Science社)によるプレゼンと質疑応答が行われた。

## 効果

- 優れた日米のスタートアップ企業を選出・表彰することで、**両国のイノベーション活動活性化やビジネス発展の促進に加え、米国市場進出をねらう日本発スタートアップ企業の事業内容をシリコンバレーのビジネス関係者にプレゼンし、シリコンバレー有業者とのネットワーキングの機会を創出した。**
- スタートアップ関係者、産学交流関係者、大学関係者などが参加し、**日本発スタートアップがそれぞれの事業内容を通じ注目され、日本のプレゼンスを示す好機となった。**

### 日時等



- 実施日時: 2021年8月4日(水)
- 実施場所: オンライン開催
- 訴求対象: 一般市民、日本に関心がある一般市民、日本語学習者他
- 開催規模: 230名

### 概要



質疑応答の様子



エレン・カメイ市長



グレッグ・タナカ市議

- 新型コロナウイルス感染症の影響で祭りなどの大型イベントの中止が続く中、**日本の魅力と伝統文化を発信**。
- 前半は、**マイケル・ディラン・カリフォルニア大学デービス校東亜言語文化学部長**が、祭りの歴史や地域毎の特色等についてレクチャーを行った。
- 後半は、**JETプログラム経験者**や**北加桜祭り実行委員**が自身が参加した祭りの紹介や体験談、海外での祭りの継承についてのプレゼンと質疑応答を行った。
- 冒頭では、**JET経験者でもあるエレン・カメイ市長(マウンテンビュー市)、グレッグ・タナカ市議(パロアルト市)**からの挨拶があった。

### 効果



- 参加者から、日本の文化・歴史・地方の魅力に対する関心が高まった、日本に行きたくなった、祭りに参加したいなどのコメントが多数寄せられ、**日本文化の理解の深化や訪日に対する関心が高まった**。
- 大学や日加姉妹都市協会等がウェブサイト等の広報媒体で、本事業を掲載し、SNSのフォロワー数、リツイートやシェアが従来の数字を大幅に超え、幅広い層に発信できた。
- **カメイ市長によるリツイート**もあり、日カリフォルニア関係強化の一助となった。

## 日時等



- 実施日時: 2021年9月1日(水)
- 実施場所: オンライン形式(訴求対象を中心とした招待制。Zoom Meetingで実施。)
- 訴求対象: カリフォルニア州政府及び州内自治体の公選職、防災実務者、コミュニティ代表者等
- 開催規模: 88人

## 概要



西川教授



クナラカス副知事



ネジュラ副室長

- 国内外で長年震災対応に携わり、国際経験も豊富な西川智・名古屋大学防災連携研究センター教授を講師として、**日本とカリフォルニア州にとって共通の重要課題である大規模地震への防災・減災について講演会を実施。**
- 講師は、写真やイラストを用いながら、日本における震災の歴史や教訓について、ユーモアを交えながら分かりやすく説明し、参加者からは質問が相次いだ。
- 同月19日には、カリフォルニア州政府内で防災・減災を所管する**知事緊急対策室による講師へのインタビューの様子がポッドキャスト“All Hazards”で放送**された。同日以降も、同室ホームページ上や iTunes、Google Play、Spotify等で聴くことが可能。

## 効果



- カリフォルニア州政府から**クナラカス副知事がビデオメッセージを寄せた**他、同州知事緊急対策室のネジュラ副室長がコメント・質問し、**日本と同州の親密な関係を印象づけることができた。**
- 参加者からは「日本の地震の歴史と防災・減災に関する**情報満載の非常に優れたプレゼンであった**」、「プログラムは良く練られたものであり、開催に感謝する」等のポジティブなコメントが得られた。
- 総領事館主催の講演会に加えて同州政府側のメディアでも講師のインタビューが放映されたことで、**防災・減災分野における日本と同州の間での協力関係構築の新たな契機となった。**

## 日時等



- 実施日時: 2021年10月23日(土)
- 実施場所: ネバダ州ヘンダーソン市
- 訴求対象: 日本産酒類に興味のある一般消費者
- 開催規模: 約150名(秋祭り全体では約10,000名)

## 概要



秋祭り/SAKE Pavilion  
SAKE TASTING at AKI MATSURI  
主催: 在サンフランシスコ日本国総領事館



- ネバダ州において最大の日本文化発信の場であるネバダ秋祭りにおいて、**清酒、焼酎や泡盛といった日本産酒類をPRするため、同祭りの会場に酒類のテイastingエリア(酒パビリオン)を設置。**
- 会場には関係業者の協力も得て、**40種類以上の酒類**を用意。参加者は、それらをテイastingするとともに、それぞれの**銘柄の特徴や楽しみ方についてレクチャー**を受けたほか、来場者同士でそれぞれの好みについてディスカッションするなど楽しんだ。
- また、**日本酒造組合中央会の協力も得て、清酒に関する英語パンフレットを配布。清酒に関する文化的な側面も含め、基本的な知識を紹介した。**

## 効果

- ラスベガスの**日系情報紙「ラスベガス・ジャパンタイムズ」**に**酒パビリオンの様子が掲載**。また、日本酒のWEBメディア「SAKE TIMES」にも関連記事が掲載予定。
- 当日の参加者からは「様々なお酒をテイastingして、自分の好みを知ることができた」、「焼酎を初めて飲んだが、とても美味しかった」といった好意的な声が聞かれた。同イベントで実施したアンケートでは、回答者全員が今回の催しに大変満足もしくは満足したと回答。
- また、酒パビリオンの設置に協力した**ラスベガスを拠点とする卸売業者に、カリフォルニア州の清酒販売業者を紹介**することで、本イベントに参加することとなったほか、今後、**卸売業者が取り扱いを進めるべく調整が始まるなど販路が広がり、新たなビジネスを創出する契機**となった。

## 日時等

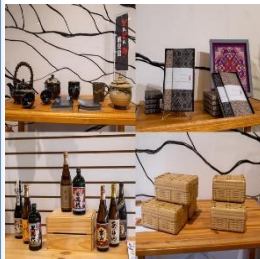


- 実施日時: 2021年11月12日～12月5日の金曜～日曜日
- 実施場所: サンフランシスコ日本町ジャパンセンターモール内
- 訴求対象: サンフランシスコ・ベイエリア在住者
- 開催規模: 来店者約6,000名(1日平均約600名)

## 概要



リボンカッティングイベント



店内の様子

- 新型コロナウイルス感染症とそれに対するカリフォルニア州の自宅待機令(2020年3月～)の結果、経済的に大きなダメージを受けたサンフランシスコ日本町を活性化させるため、「海外在留邦人・日系人の生活・ビジネス基盤強化事業」を活用した「Japantenna Holiday Shopping Campaign」の一環として、都道府県のアンテナショップ開催を企図する非営利法人「**Japantenna**」による**鹿児島県物産展**を中心とした活性化イベントを支援。
- 日本町内の**複数企業が協力したクロス・マーケティング**の実施等により、モール内の訪問客の回遊性の向上にも貢献。
- レセプションにサンフランシスコ市議会議員や日系コミュニティのリーダーが多数出席したほか、リボンカッティングイベントには**ロンドン・ブリード・サンフランシスコ市長**等も参加。

## 効果

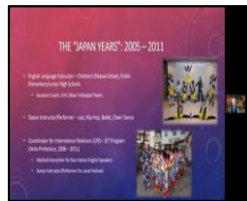
- 多数の来店者(約6000名)により、イベント期間中のサンフランシスコ日本町の活性化に貢献。また、**複数の日系コミュニティが組織を超えて連携する素地**をつくった。
- 来店者の多くが鹿児島県を知らなかったことから、**鹿児島県の魅力的な文化・特産品・観光資源を発信し、認知度向上**につなげることができた。今後の日本の都道府県の魅力発信の継続的な実施に対する機運を醸成する機会となった。
- サンフランシスコ市長・市議及びサンフランシスコ日系コミュニティのリーダー等の**日本の地方の魅力を紹介する契機**となった。

## 日時等



- 実施日時: 2021年11月30日(火)
- 実施場所: オンライン開催
- 訴求対象: 日本語学習者(高校・大学生)
- 開催規模: 270人

## 概要



- 日本語を外国語として習得し、ゲーム、マンガ、メディア、教育等様々な分野での経験を持つ3名が、**日本語学習のきっかけ、訪日経験、日本語運用能力を活かしたキャリアパス等について講演した。**
- **カリフォルニア日本語教師会**や大学、高校を通じて広報し、様々な日本語レベルの学習者が参加し、質疑応答では多くの質問が寄せられた。

## 効果



- 参加者の想像を超える様々なキャリアパスが紹介されたことで、**日本語能力と他の専門分野と組み合わせる付加価値を見いだす必要性**に気がついた、資格取得以上に**実践的な日本語の習得が大切**であることが分かったなどのコメントがあり、**日本語学習の継続及び向上への意欲の増進につながる事業**であった。同様の事業開催を期待する声も寄せられた。
- プレゼンターが、**JETプログラム経験者や元国費外国人留学生**で、それぞれのプログラムの紹介や、継続した関係の強化にもつながった。
- オンラインでの実施により、より広いエリアからの参加があった。
- SNSでは、通常の投稿の倍以上の反応やフォロワー数の増加があった。

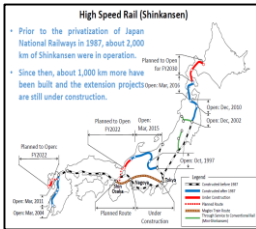


## 日時等



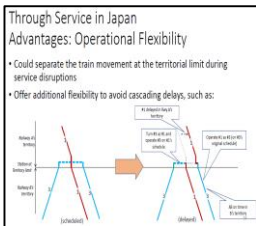
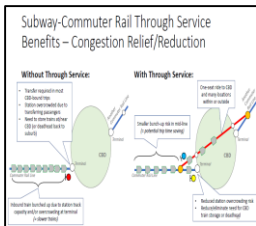
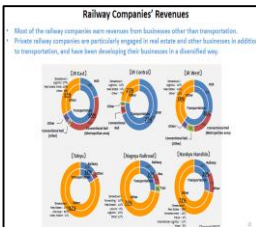
- 実施日時: 2021年12月13日(月)
- 実施場所: オンライン
- 訴求対象: Rail Fleet Consortiumに参加する米国の鉄道関係者
- 開催規模: 約80名

## 概要



- 北米の**鉄道事業者が集まるRail Fleet Consortium**(以下「RFC」)において、カリフォルニア州在住の鉄道有識者である花倉氏及び総領事館領事より、**我が国の鉄道の概況及びベストプラクティスについて、講演及び質疑**を実施した。
- RFCは、車両の運用・管理等を中心に、鉄道事業者間においてベストプラクティスの共有、車両関係業界の地位や事業者間の連携の向上を図るべく設立された米国等の鉄道事業者の集う場である。定期的  
に開催され、鉄道等に関する様々なテーマについて議論が行われている(カリフォルニア州を中心に、複数の州の鉄道事業者が参加)。

## 効果



- 参加した鉄道事業者それぞれが抱える課題の解決への貢献を図るため、我が国鉄道におけるベストプラクティスを提供した。
- 我が国の鉄道について、講演前の段階で参加者からは「安全」、「正確」、「顧客重視」といったポジティブなイメージが示された一方で、参加者の約7割は実際に我が国へ渡航した経験がなく、**我が国の質の高い鉄道インフラに関するより明確なイメージを持ってもらう有意義な機会**になった。
- 公共交通を含む大規模なインフラ投資が米国内で進められる中、鉄道インフラの管理・運営を担う米国内の鉄道事業者における我が国の鉄道インフラへの理解が深まることは、日系企業が米国内の鉄道インフラの改善に向けて活動・貢献しやすい環境整備の一助になるものと期待する。

## 日時等



- 実施日時: 2022年2月12日(土)
- 実施場所: オンライン
- 訴求対象: 清酒に興味のある一般消費者
- 開催規模: 約60名

## 概要



川村総領事による  
オープニングスピーチ



マイケル・セラ  
日系アメリカ人サンノゼ  
歴史資料館理事長



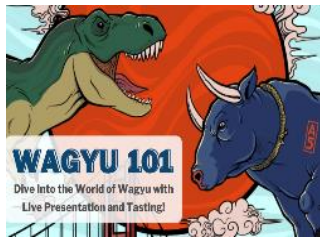
- 新型コロナウイルスの蔓延により影響を受けたサンノゼ日本町の活性化を図るため、同地域と協力して**清酒のレクチャー及びテイस्टィングを行うオンラインイベントを実施**。
- 当地の清酒製造業者の協力を得て、純米酒やにごり酒など、5つの異なるタイプの清酒を用意するとともに、**チーズや日本産の菓子など、ペアリングを楽しむスナックボックスを用意**。
- 参加者は、清酒の製造方法や各タイプの違い、ペアリングについてレクチャーを受けるとともに、テイस्टィングを楽しんだ。
- また、イベントに集まった幅広い客層に対して、イベントを共催する**日系アメリカ人サンノゼ歴史資料館の活動紹介、サンノゼ日本町の飲食店・団体のPRを行った**。

## 効果



- 当日の参加者からは「清酒の各タイプの違い、おすすめの飲み方や酒器など、多くのことを学べた」、「今後、清酒を選ぶうえでとても参考になった」といった好意的な声が寄せられた。
- イベント後に実施したアンケートでは、**回答者23名全員が今回の催しに大変満足もしくは満足したと回答しており、清酒文化の普及・理解促進に大きな効果があった**。
- また、同イベントは、資料館を中心にサンノゼ日本町のコミュニティや日系清酒製造業者の協力のもとで実施され、**サンノゼ日本町のコミュニティ活性化及び日系企業のプレゼンス向上にも繋がった**。

## 日時等



イベントの様子



ブロック肉をカットしながら解説



和牛を用いた握り寿司



飲料メーカーのPRブース



- 実施日時: 2022年3月11日(金)
- 実施場所: サンフランシスコ市内
- 訴求対象: 日本産和牛に興味のある一般消費者及びインフルエンサー
- 開催規模: 約100名

- 現地の一般消費者やインフルエンサーに対し、日本から米国向けの重要な輸出品目の一つである**日本産和牛の魅力**をPRするイベントを開催。
- 現地の和牛輸入業者の協力を得て、**和牛独自の飼育方法や味の特徴など、他の牛肉との違いについて説明**するとともに、実際に和牛のブロック肉をカットしながら部位による違いについても解説。
- また、日本産和牛を用いた焼肉や握り寿司等を用意。参加者は、和牛に関する知識を得るだけでなく試食も楽しんだ。
- 加えて、イベント会場には**日系企業支援としてサンフランシスコに拠点を持つ飲料メーカー(北米伊藤園、米国サントリー、ビーム・サントリー)のPRブースを設置**。お茶やノンアルコールビール等のサンプル配布を行い、現地における日系企業のプレゼンス向上に繋がった。

- イベント後に実施したアンケートでは、**回答者(40名)の9割以上が今回の催しに満足したと回答**。
- また、イベントに招待した**インフルエンサー12名は、SNSのフォロワー数が合計で約10万フォロワーに上り、イベント参加後にはイベントの状況をSNSに投稿**。
- 例えば、TikTokに投稿された**関連動画の再生回数が2万回を超える等の反響があり、和牛の普及促進、今後の輸出拡大につながる契機**となった。

## 概要

## 効果

## 日時等



- 実施日時: 2022年3月25日(金)
- 実施場所: サンフランシスコ近郊及びオンライン(ハイブリッド開催)
- 訴求対象: 米国企業ビジネス関係者等
- 開催規模: 約120名



楽天USA社: 木村CSOによる基調講演

- 米国企業ビジネス関係者等に対し、米国を中心に活動している**日系企業が保有する技術やその活動について認知度を向上**させ、米国企業が**日本企業と事業を検討するきっかけ**となる機会を創出。
- カリフォルニア州で活動する**日系企業10社からのプレゼンテーション、ビデオ上映、ブース展示は、オンラインでライブ配信**され、盛り上がった。
- 新型コロナウイルス対策措置のため、会場からの参加は出展企業とMC等最低限の人数であったが、**チャット機能を通じた参加者からの質問対応も含め、オンライン参加者に対してもライブ感を配慮**。
- 休憩時間には、サンフランシスコ・ベイエリア在住で活動を続けるパーカッショニスト藤井はるか氏がライブ演奏を披露。

## 概要



現場での生配信の様子

- イベント後に出展企業向け(6社回答)に実施したアンケートでは、概ね満足したとの回答があり、協業案件を検討中との話もあった。また、本イベントと同様の**企業間コラボレーションを模索できるイベント開催の要望**等があげられた。
- 出展企業を含めた**日系企業と米国企業との協業が今後さらに進展**することを期待。

## 効果



パーカッショニスト藤井はるか氏のライブ演奏

## 日時等



プロモーションHP

- 実施日時: 2021年5月13日～2022年3月31日
- 実施場所: オンライン及び複数のレストラン(ワシントン州シアトル市近郊)
- 訴求対象: 一般市民
- 開催規模: 約56,000人(リーチ数)

## 概要



フライヤー



末次毅行氏



加柴司郎氏

- シアトルエリアにおける日本食の認知度・人気を向上させるとともに、コロナで打撃を受けた日本食レストランを支援するため、毎月11日をJapanese Restaurant Dayとして、**特設ウェブサイト、各種ソーシャルメディア等において総領事による毎月の食レポ動画の作成・発信、協力レストランにおけるイベント情報の発信等**を行ったほか、**兵庫県庁・神戸市役所と連携し、現地の有名シェフを起用した日本酒のペアリングセミナーを開催した。**
- また、今年度に農林水産大臣から日本食普及功労者表彰を授賞された現地在住の日本人(加柴司郎氏、末次毅行氏)について、**表彰状の伝達式を行い、その様子を天皇誕生日レセプションで上映・PRを行った。**
- 加えて、**宮城県庁の実施する現地における日系スーパー、レストラン12店舗における宮城フェアに対して、総領事による宮城フェア体験動画の作成・発信のほか、レストランにおけるプロモーション内容(特別メニューの提供等)の情報についてJapanese Restaurant Dayの特設サイトで体系的に発信するなど、協力を行った。**

## 効果



参加したラーメン店にて

- 本プロモーションを通じて、協力レストランからは**新規顧客の獲得に繋がった**という声があがった。
- 総領事による日本食動画は好評を博し、現地カナダ総領事から出演の希望があり、**日・加で協力した日本食のPRを実現した。**
- 兵庫県・神戸市との共催セミナーについては、**145名の参加を得て、約98%が「満足」と回答。**

# シアトル日本商工会主催パネルディスカッション 「名もなきミッション：日本人駐在員の挑戦」【シアトル総領事館】

## 日時等

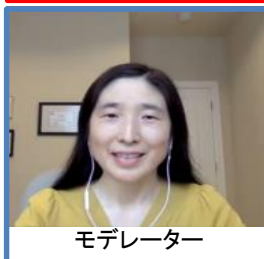


- 実施日時：2021年9月18日（土）
- 実施場所：オンライン形式（Zoom）
- 訴求対象：シアトルの学生や若手ビジネスマン等、日系企業や日本のビジネスに関心を有する米国人
- 開催規模：約40名

## 概要



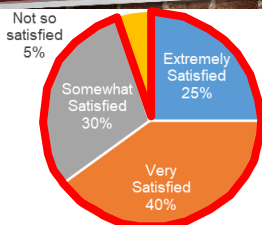
パネリスト(3名)



モデレーター

- シアトルでの日本人及び日本のビジネス文化に対する理解を深め、より一層の日米交流の促進を図るため、**日米でのキャリア経験を有する日本企業駐在員が、自身の仕事やプライベートを通じた気付きや思考、考えについて、パネルディスカッション形式で議論・紹介**を行った。
- 日系企業の米国子会社が、日本の親会社からどのようなミッションを担っているのか、日米間での意思決定スピードの違い、上司と部下との関係性や女性の働き方等の日米間でのビジネスカルチャーの違い、日本人駐在員の失敗談などについて、活発な議論が行われた。
- 日本企業が**アマゾン社やマイクロソフト社等のシアトルの企業から学ぶべきことは多い**、との意見がある一方で、**米国との違いを念頭に置きつつも、日本のよい習慣・文化を残すことは大事との意見**もあった。

## 効果



**9割以上の参加者が  
イベントに満足**

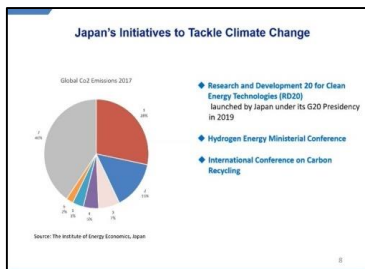
- 参加者へのアンケートの結果、**約9割以上の参加者が「イベントに満足した」、「日本／日本企業についての理解が深まった」と回答**。
- 日本企業の駐在員の**思考・行動・仕事及び生活を通じた気付きを紹介し、関心を高めることで、日本企業による米国経済・雇用への貢献に対する理解と認識を促進**できた。
- 「社会的平等やBLM問題等の、米国が現在抱えている問題に関する日本企業の視点」、「日本企業が米国に進出する際の法規等で苦労した点」、「地球環境問題に関する日米の捉え方の違い」等をテーマに、次回以降もパネルディスカッションを実施してほしいとの声が挙げられた。

## 日時等



- 実施日時: 2021年10月14日(木) 16:00～17:30
- 実施場所: オンライン形式 (Zoom)
- 訴求対象: 当地経済団体関係者や同所属企業の社員、日本に興味のある米国人学生等
- 開催規模: 参加人数約50名

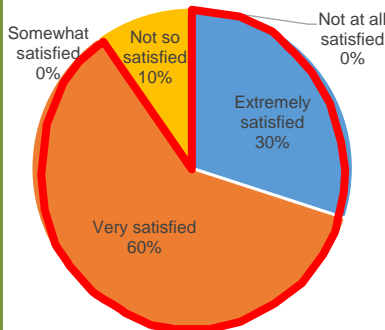
## 概要



パネルディスカッションの様子

- 気候変動／脱炭素分野の中でも、コロンビア川の水力発電の余剰電力を使用したグリーン水素の製造から、水素技術に力を入れているワシントン州において、州商務局、民間団体、学識者をそれぞれ招聘し、日本側からはJETROサンフランシスコ事務所が参加して、**水素エネルギー開発の技術動向や今後の日米間連携についてパネルディスカッション形式での議論が実施された。**
- 日本における脱炭素化に向けた取り組みや技術開発動向、ワシントン州における取り組みの現状や課題について紹介された上で、Q&Aでは**ワシントン州と日本企業が連携・協力しうる分野などについて質問されるなど、活発な議論が実施された。**

## 効果



9割の参加者が  
イベントに満足

- 参加者へのアンケート(10名が回答)の結果、**9割**の参加者が「イベントに**満足した**」、「セミナーを通じて**日本について興味・興味を持った**」、「**理解が深まった**」と回答。
- 日本・ワシントン州双方での**産官学間で水素エネルギーに関する理解が促進され、将来の具体的な協力案件へと繋がる**ことが期待される。

## 日時等



弁当配布の様子①

- 実施日時: 2021年5月~7月
- 実施場所: イリノイ州シカゴ市及び近郊
- 訴求対象: エッセンシャルワーカー(例: 医療関係者、警察官、消防署員など)及び日本食レストラン
- 開催規模: 計2,067食の日本食弁当を配布(41施設に配布、10箇所の日本食レストランが協力)

## 概要



弁当配布の様子②

- シカゴ市及び近郊の日本食レストランが提供する**日本食弁当をエッセンシャルワーカーに配布する"Arigato to Chicago's Best -my kind of BENTO"**を実施。シカゴ日本商工会議所のネットワークを活かした配布先の調整、レストランの募集を行った。
- **エッセンシャルワーカーへの感謝を示すとともに、将来的な日本食に対する需要の開拓、日本食(お弁当)の普及及び市民に寄り添い、新型コロナからの「より良い回復」に貢献する日本の姿勢を発信する取組となった。**



弁当配布の様子③

- 弁当を受け取った方からは「**コロナ禍で大変な思いをして働いていたスタッフにこのような形で弁当を提供いただき、大変感謝。日本食を初めて食べるスタッフもいて、日本食を気に入りこれからも食べたい**」、「**感染ピーク時には様々な差し入れが相次いだ**が、**経済再開に伴い途絶えた。ワクチン接種で多忙な日が続く中、おいしい日本食の心遣いが本当にうれしい**」(医療関係者)などのコメントが寄せられ、**日本食への関心・需要の開拓**が図られた。
- 参加レストランからは「**営業規制が緩和され、フルオープンになってきたが、このように支援をしていただけることに対して大変感謝。また、日本食の裾野を広げていただけるとありがたい。**」などのコメントもあった。
- また、**地元ラジオ・日系メディア**などでも取り上げられたことや配布先にも**SNS等で発信**を依頼したことで、**多くの方に取組を知ってもらうことができた。**

2021年6月18日  
WGN Radio 720より

## 効果

2021年6月19日  
日経新聞より



### 日時等



フライヤーイメージ

- 実施日時: 2021年5月13日(木) - 15日(土)
- 実施場所: イリノイ州シカゴ市
- 訴求対象: SNSインフルエンサー、日本食に関心のある市民層
- 開催規模: 180名

### 概要



World Business Chicago代表と岡田総領事



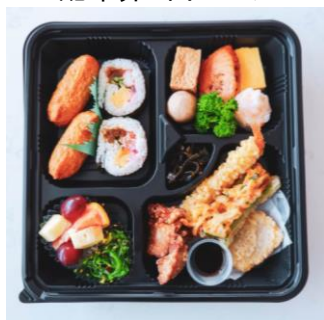
シカゴ市副市長と岡田総領事

- シカゴ市のSNSインフルエンサーや日本食に関心のある市民層に対し、同市南部の「ジャクソン・パーク」(注: 1893年に日本政府が平等院鳳凰堂を模した日本館を出展した「シカゴ万博」跡地に建設。日米交流を記念した日本庭園や桜がある)の**歴史や桜、花見文化を紹介する広報資料**とともに、日本食レストラン4店の協力を得て**日本食弁当**を配布。
- あわせて、**広報動画**を作成し、コロナ禍でもバーチャルに同公園での**花見**を体験する機会を提供。

### 効果



配布弁当イメージ



2021年6月10日  
Chicagofoodmagazineより

- 数万人規模のフォロワーを有する複数のインスタグラマー等の**SNSインフルエンサー**から、配布した**日本食弁当の写真**とともに「ジャクソン・パーク」の**日本庭園や桜に関する情報が発信**され、また、**オンライン雑誌記事掲載**等を通じ、日本食やシカゴ日米交流史、日本の花見文化等への関心・理解の向上に弾みを付けた。
- また、シカゴ市副市長や同市の対外経済関係を担う「ワールド・ビジネス・シカゴ」総裁に個別にアプローチし、協力して**日本食の一層の普及**や**日本庭園・桜**を活用した**日本・シカゴ友好**を更に推進する姿勢を広く発信できた。



WAGYU &amp; SAKE TASTING

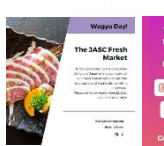
Sponsored by Consulate-General of Japan in Chicago

Monday, September 13, 2021

~ Truth about WAGYU ~

Presented by Chicago Governor & RPM Steak  
Joining Executive Chef Evan Fischer

#WagyuSake\_CG2021 @jpmcc\_chicago



イベントフライヤー



和牛を用いた料理



イベントの様子



SNS発信①



SNS発信②

## 日時等

- 実施日時: 2021年9月13日(月)–10月7日(木)
- 実施場所: ①9/13「RPM STEAK」(レストラン)  
②9/23「JASC Fresh Market」  
(日本食直売イベント)  
③9/30–10/7「Gajjin」、「Kumiko」、「Ringo」  
(レストラン)
- 訴求対象: ①インフルエンサー、②・③一般市民
- 開催規模: ①30名、②270名、③224名

## 概要

- 「シカゴ・グルメ」(毎年秋に開催されるシカゴ最大のフードイベント)の枠内で**日本産和牛**、**日本酒**のプロモーションを実施。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、訴求対象毎に3回に分けてプロモーションを実施した。
- **インフルエンサー向け**イベントで、**エバン・パッカー氏**(和牛に精通する現地有名レストラン特別シェフ)が、**日本産和牛の魅力**、**和牛種(米国産和牛)との違い**等をレクチャー。和牛を用いた料理の**試食**、**日本酒とのペアリング**を実施。
- **一般市民向け**に、日本食直売イベントで出店レストランの協力を得て、「**和牛デー**」として和牛料理の試食品を配布。さらに市内レストラン3店の協力を得て「**和牛ウィーク**」を実施し、和牛料理の試食を提供。

## 効果

- インフルエンサー向けイベントに参加したブロガーやインスタグラマー等を通じて、**合計80,000人以上**にリーチ。
- **一般市民向け**に実施した、「**和牛デー**」及び「**和牛ウィーク**」においては**著名な料理評論家も含め**、**市民約500名**に対して**和牛の魅力**を発信。
- イベントを通じて、インフルエンサーのほか一般消費者、飲食業関係者にも日本産和牛の魅力を発信し、今後の和牛需要促進のきっかけとなる事業となった。

## 日時等

An Evening with Japan  
Hosted by Radius Indiana

Renewing Our Warm Relationship

OCTOBER 18, 2021 6:00 PM - 8:30 PM  
FRENCH LICK RESORT

Radius

セミナーフライヤー

- 実施日時: 2021年10月18日(月)~20日(水)
- 実施場所: インディアナ州フレンチリック市、ワシントン市
- 訴求対象: 地域行政関係者、地域経済開発公社関係者、日系企業関係者
- 開催規模: 延べ97名(全行程)

## 概要



セミナーの様子



意見交換の様子

ホルコム  
インディアナ州知事と

- インディアナ州南西部8郡をまとめる**経済開発公社**(Radius Indiana)、**行政関係者**、**議会関係者**等の地域リーダーに向けて、日本とインディアナ州、同地域の関係について学ぶための**経済セミナー**(「An Evening with Japan」)を行うと共に、意見交換を実施。
- ワシントン市において**M&C tech社**(森六ケミカルズおよび中部化学の子会社)を**Radius Indiana**、**ワシントン市長**、**郡経済開発公社関係者と共に訪問**、同工場を視察し、その後ワシントン市長及び郡経済開発公社関係者と共に意見交換を実施。
- インディアナポリスにおいて、インディアナ日米協会、地域経済開発公社、日系企業等との意見交換及び**ホルコム州知事**及び**チャンバース州商務長官**と面会・意見交換を実施。

## 効果



日系企業視察の様子



日系企業視察の様子

- 現地市長らと共に、M&C tech社のインディアナ州進出時の拠点開設式以来、再度同社を訪問し**事業(自動車部品の製造)や拡張計画のフォローアップ**の機会となったほか、新たに着任した田島総領事と共に**総領事館及び地元行政関係者との良好な関係を改めて確認**する機会となった。
- コロナ後初の「草の根キャラバン」が、現地メディア(Inside Indiana Business)で報道される等、**日系企業の貢献を州政府や地域リーダーに発信**する機会となり、現地経済開発公社からは**今後も日本企業を積極的にRadius地域に誘致していきたい**という意見が述べられた。

## 日時等



## イベントフライヤー



日系企業訪問の様子

フォーリー  
ネブラスカ州副知事らと

- 実施日時: 2021年11月17日(水)~18日(木)
- 実施場所: ネブラスカ州リンカーン市、オマハ市
- 訴求対象: 州政府関係者、連邦議会議員、地元ビジネス関係者、教育機関、日系企業関係者
- 開催規模: 約100名

## 概要

- リンカーン市において**川崎モーターズ・マニュファクチャリング(川崎重工の子会社)**を州経済開発局関係者他と共に訪問、同社工場を視察。
- リンカーン市において、**フォーリー副知事**(ゴインズ経済開発局長、ウェルマン農業局長同席)、**エヴネン州務長官**とそれぞれ面会し、日ネブラスカ関係等について意見交換を行った。
- オマハ市において、州政府高官、地元ビジネスリーダー及び日系企業関係者を交えた夕食会を実施して意見交換を行った。
- オマハ市での中西部国際貿易協会(MITA)主催のイベントにて田島総領事が日ネブラスカ間の経済関係に関するプレゼンテーションを行った。同イベントには州政府、地元企業、日系企業、教育機関などから約50名が参加した。



SNS発信

- ネブラスカ州では今回が2度目のキャラバン実施となった。日系企業の事業状況や**今後の工場拡大計画**及び**雇用創出見込み**といった**日系企業の貢献を州政府高官らへ発信する機会**となった。
- 日ネブラスカ間の強固な貿易・投資関係や日系企業の地域への貢献について発信し、**各業界の参加者からSNSにてイベントの様子が投稿**されるなどの反響があった。
- 地元メディアより**総領事へのインタビューがインターネットテレビ及びラジオで配信**され、より幅広い層に日ネブラスカ関係について発信がなされた。

## 効果



2021年11月22日

Trent talks all things Japan Ep. 24

総領事インタビュー  
の様子

CONSUL GENERAL OF JAPAN IN CHICAGO AND JETRO VISIT TO UPSHER-SMITH.

Monday, December 14, 2021.  
2:00 to 4:00 PM.

upshe-smith laboratories, LLC.  
4575 KENNEDY DR.  
MAPLE GROVE, MN 55127.  
TEL: 763-261-1100 FAX: 763-261-1101

イベントフライヤー

## 日時等

- 実施日時: 2021年12月13日(月)~14日(火)
- 実施場所: ミネソタ州メープルグローブ市、セントポール市
- 訴求対象: 州政府関係者、州下院議員、市長、市会議員、連邦議員事務所スタッフ等
- 開催規模: 約25名



企業訪問の様子



企業訪問の様子



意見交換の様子

## 概要

- ミネソタ州では今回が3度目のキャラバン実施。
- メープルグローブ市において、**アップシャー・スミス・ラボラトリーズ社(沢井製薬の子会社)**を、**地元市長、州議会下院議員、連邦議員事務所スタッフ、州政府関係者**等と訪問し、会社概要説明を受けると共に建設中の新工場を視察。また、田島総領事より、参加者に対して日本の経済対策、コロナ対策等に関するプレゼンテーションを行った。
- セントポール市において、**フラナガン・ミネソタ州副知事、グローブ雇用経済開発局長官**とそれぞれ面会し、日ミネソタ関係等について、意見交換を行った。



参加者による SNS発信①



参加者による SNS発信②

## 効果

- 今回訪問した企業は2017年に日系企業に買収された企業。地元行政関係者との良好な関係を改めて確認することができた。
- 地元市長から州下院議員まで幅広い地元リーダーの参加者に対して**日ミネソタ間の貿易・投資関係や日系企業の地域への貢献について発信**。参加者の理解を深めることができ、参加した州下院議員からはSNSによる発信もなされた。
- 州政府高官からは、**クリーンエネルギーに関するテクノロジーにおける日系企業との協力可能性について前向きな意見**が示された。

## 日時等



意見交換の様子①

- 実施日時: 2022年1月13日(木)~14日(金)
- 実施場所: ノースダコタ州ファーゴ市、ウエストファーゴ市、ビスマーク市
- 訴求対象: 地域行政関係者、議会関係者、日系企業関係者
- 開催規模: 延べ35名(全行程)

## 概要



バーガム知事と



意見交換の様子②



企業訪問の様子

- ノースダコタ州ファーゴ市において**バーガム知事**及び**レイマン商務長官**と面会、日・ノースダコタ関係について意見交換を実施。
- ウエストファーゴ市において**クレイリー・インダストリー社(株式会社やまびこ(農林業機械メーカー)の子会社)**をウエストファーゴ市長、州議会議員、連邦議員事務所関係者、州貿易事務所関係者と共に訪問し、田島総領事、JETROシカゴ、同社によるプレゼンテーション、意見交換及び工場視察を実施。
- ビスマーク市において**レッドトレイルインダストリー社(二酸化炭素貯留の取組を行っているエタノールメーカー)**及び**エネルギー・環境研究センター**と面会し、**二酸化炭素貯留の取組や日系企業との連携につき意見交換**を実施。

## 効果



Consul General Tajima Hiroshi tours Cray Industries in West Fargo, N.D. (photo/JETRO)

Throughout North Dakota, Sustaining these connections is integral for many cooperative projects in the future, says Corbitt. As N.D. looks to continue advancement across agriculture, energy, and technology industries, growing partnerships will help sustain and positively impact the economy.

In addition to strengthening business ties, Consul General Tajima and the delegation took time to visit Miss Olayinka, a nearly 100-year-old Japanese-American Friendship Quilt which is housed in NDSU's Emily Reynolds Historic Costume Collection at NDSU.

A government Japanese trade mission is planned for the second half of 2022, with more details to come. This trade mission, planned by the NDITO and the N.D. Department of Commerce, is an opportunity to reinvigorate existing relationships and connect with the Japanese in their own country, further cementing partnerships between the two governments.

現地メディアによる報道

- ノースダコタ州では今回が初めての草の根キャラバンとなった。今回訪問した**日系企業の事業(農業機械の製造)の順調な進捗や日系企業の現地経済への貢献を州政府高官などに発信**する機会となった。
- 企業訪問においては、**日系企業の地域への貢献や、デジタル田園都市国家構想を含む岸田内閣の政策等**について発信し、参加者の理解を深めることができた。
- 草の根キャラバン後、**現地メディア(Steel County Press)**で報道されるなど、より幅広い米国市民へ発信することができた。

## 日時等



田島在シカゴ総領事

メイ在大阪・神戸  
総領事

高橋大阪市副市長

マイエカー  
シカゴ市副市長大阪市プレゼンの  
様子シカゴ市プレゼンの  
様子

- 実施日時: 2022年2月23日(水)
- 形式: Zoomによるオンライン形式
- 主催: シカゴ市、大阪市、ワールドビジネスシカゴ
- 共催: シカゴ姉妹都市インターナショナル、在シカゴ日本国総領事館、在大阪・神戸米国総領事館、大阪イノベーションハブ、大阪商工会議所
- 訴求対象: シカゴ市、大阪市に進出を目指す企業関係者、両自治体関係者
- 開催規模: 約80人

- 姉妹都市関係である大阪市とシカゴ市が両市のイノベーション振興施策を紹介するとともに、大阪市の支援を受けた医療ベンチャー等、デジタルトランスフォーメーションに先進的に取り組む両市の新興企業からプレゼンテーションを実施。
- 田島在シカゴ総領事が出席し、来年にシカゴ大阪姉妹都市提携50周年を迎えること、日本政府が取り組んでいる**デジタル田園都市国家構想の概要**などを発信。
- メイ在大阪・神戸米国総領事も出席し、開会の挨拶を実施するなど**政府と地方自治体が連携した取組**。

- シカゴ市、**大阪市のイノベーション振興施策**を紹介することで、両市への進出を希望している企業にアピールする機会となった。
- また、**両市の新興企業から最新の取組**を紹介することにより、日米のビジネスマッチングへつながる良い機会となった。
- 昨年に引き続いて第2回目の開催となり、姉妹都市活動の良いPR機会となった。

## 概要

## 効果

## 日時等



イベントフライヤー

- 実施日時: 2021年9月12日(日)
- 実施場所: ミシガン州サギノー市サギノー日本文化センター
- 訴求対象: サギノー市及び周辺地区の一般市民(市、市議会関係者等を含む)
- 開催規模: 300名

## 概要



当日の様子①



当日の様子②

- 本格的茶室と日本庭園を会場とする、**総合的な日本文化紹介をテーマとした祭り**を開催。
- 1961年から姉妹都市関係にある徳島県徳島市とミシガン州サギノー市によって1985年に建設され、サギノー日本文化センターが管理・運営する茶室と日本庭園にて実施。
- イベントとして茶道デモンストレーション、生け花展示、和太鼓・琴演奏、書道・折り紙コーナー等を実施し、デトロイト総領事館ブースも設置。

## 効果



報道の様子①



報道の様子②

- デトロイト総領事館所在地から離れた都市であるサギノーにおいては、日系企業等も少なく、日本文化に触れる機会が限定的である中、市や市議会関係者を含め、**幅広い一般市民に対して、対日理解促進に資する日本文化紹介**を行えた。
- アンケートから、初めて本イベントに参加した割合が高かったという結果(70%)が出ており、これまで**日本文化に関心を有していなかった層にもアウトリーチ**できた。
- **イベント満足度の**平均値は5段階中「5」(最高値)という結果であった。



## 日時等



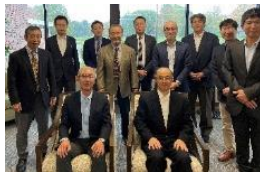
意見交換会フライヤー

- 実施日時: 2021年10月28日(木)
- 実施場所: ミシガン州バトルクリーク市バトルクリーク経済開発公団
- 訴求対象: バトルクリーク市及び同経済開発公団関係者
- 開催規模: 延べ27名(16名+11名)

## 概要



当日の様子①



当日の様子②

- **バトルクリーク経済開発公団と協力し、マーク・ベーンケ・バトルクリーク市長**及び同市関係者並びに同市進出日系企業代表者を集めた意見交換会を実施。併せて、同地域の日系企業代表者による情報交換会を実施。
- バトルクリーク市はミシガン州南西部に位置し、同州においてデトロイト都市圏に次いで日系企業が集積している地域。デンソーを始め製造工場が多数所在し、**日系企業による雇用者数は州内第1位**。
- 同市長の他、同市副シティマネージャー、同公団理事長、同公団役員会長、日本貿易振興機構(JETRO)シカゴ事務所次長等も出席。

## 効果



当日の様子③



当日の様子④

- 意見交換会では、**バトルクリーク市関係者2名、バトルクリーク経済開発公団関係者5名、市内に所在する日系企業4社の代表者が一堂に会するイベント**となった。
- 情報交換会では、**日系企業7社が参加し**、製造工場の多い同地域の日系企業が抱える労働力不足や住宅価格の高騰等の問題が共有された。
- ベーンケ市長から、「**技能を持った人材、労働力や住居の不足問題に対応し**、更なる需要に対応していきたい。バトルクリーク市は今後も成長し、**将来においても日系企業の役割は非常に大きい**。」と期待が述べられるなど、現地自治体関係者らとともに日系企業の地域貢献を再確認することができた。

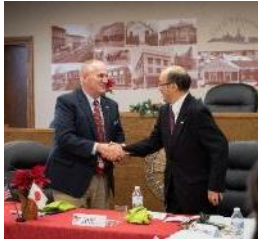
## 日時等



意見交換会フライヤー

- 実施日時: 2021年12月7日(火)
- 実施場所: オハイオ州ベルフオンテン市議会議事堂
- 訴求対象: ベルフオンテン市及びローガン郡関係者
- 開催規模: 22名

## 概要



意見交換会の様子①



意見交換会の様子②

- **ベン・スターラー・ベルフオンテン市長と協力し、同市及びローガン郡の関係者並びに同市進出日系企業代表者を集めた意見交換会を実施。**
- ベルフオンテン市は、コロンバス市北西部に位置するローガン郡の郡庁所在地であり、**日系企業が集積する地域**の1つ。市内にはAGCの工場等、郡内にはホンダの車両組立工場、変速機製造工場等が所在。同市は2021年に**三重県鈴鹿市との姉妹都市提携30周年**を迎えた。
- 同市長の他、市教育長、ローガン郡委員長、商工会会頭、ラルフ・インフォルザート日本貿易振興機構(JETRO)シカゴ事務所長も出席。



意見交換会の様子③

- **ベルフオンテン市及びローガン郡の関係者6名、市内に所在する日系企業5社、同市を除く郡内に所在する日系企業5社の代表者が一堂に会するイベント**となった。
- スターラー市長から、「当地域の日系企業のリーダーに一堂に会してもらうのは初めてのことであり、**大変貴重で歴史的な機会**となった。」と謝意が述べられた。
- 地元紙が本意見交換会について、同市史上初めてとなる特別なイベントであるとして、関連記事を掲載し、**同地域に進出する日系企業を広く発信する機会**となった。

## 効果



関連記事

# アニメコンベンション「ナンデスカン2021」での日本文化紹介イベントの開催

## 【デンバー総領事館】

### 日時等



イベントフライヤー①

- 実施日時: 2021年9月3日(金)～5日(日)
- 実施場所: ゲイロード・ホテルアンドリゾート  
コロラド州オーロラ市
- 訴求対象: ナンデスカン参加者を含む米国一般市民
- 開催規模: ナンデスカン参加者約1万人  
(デンバー総イベント参加者1,120名)

### 概要



イベントフライヤー②

- 米国山岳部最大のアニメコンベンションである「ナンデスカン」の開催に合わせ、**アリサ・フリードマン・オレゴン大学教授による日本のアニメ文化に関するワークショップの開催**を通じ、米国でのアニメの現状及び日本のアニメ文化が米国アニメ文化に与えた影響等の理解促進を図った。
- 同イベントにて開催された**コスプレ大会での成績優秀者に総領事杯を授与**することで、親日家の発掘・拡大、及び一般市民の日本文化への関心を深めることで草の根レベルでの対日理解の促進・深化・日本のコンテンツ産業の米国展開促進を図った。



イベントフライヤー③

- フリードマン教授の**ワークショップは、120名近くの参加者**を得た。同教授の分析による日本のアニメ文化が米国アニメに与えた影響及び日本語学習及び**日本文化を理解する上でのアニメの教材価値の重要性は多くの参加者の興味を引いた。**
- **コスプレ大会には約1,000名の観客が参加し、40組以上のエントリー。**成績優秀者1名への総領事杯の授与やコスプレ大会参加者との交流を通じた懇談から日本の関心の高さが見てとれ、**対日理解促進・深化に寄与した。**
- 約60名から回収したアンケートの結果、**ほぼ全員がイベント内容に満足、約8割近くが日本に対する理解が深まったと回答**するなど、日本に対する好感度が上昇、約6割が今回初めて総領事館の実施事業に参加したと回答。**新たな親日層の開拓を通じて日本のコンテンツ産業の米国での展開促進に繋がった。**



ワークショップの様子

### 効果



コスプレ大会の様子

## 日時等



当日の様子①

- 実施日時: 2022年3月5日(土)
- 実施場所: スタンレーマーケットプレイス  
コロラド州オーロラ市
- 訴求対象: 米国一般市民
- 開催規模: 100名以上

## 概要

提供された  
日本産酒類

セミナーの様子

- **酒のソムリエによるセミナーの後、デンバーの姉妹都市である岐阜県高山市のお酒3種、熊本県の赤紫蘇焼酎などの試飲会**を実施。雑祭りにあわせたちらし寿司、酒のおつまみとしてのたこ焼きやラーメンの他、熊本の米粉を使った天ぷら、著名米国人パティシエによる米粉のデザートを提供。
- 会場には、雑人形を設置した写真撮影コーナーを設けたほか、信楽焼の酒器、着物酒ボトルカバーなどを展示し、日本文化も紹介。
- 犬用の米粉の三色菱ケーキやおやつを提供。Hartz社(ユニチャーム社の米国法人)からも参加者に犬用おやつやおもちゃを配布。

## 効果



米粉の紹介

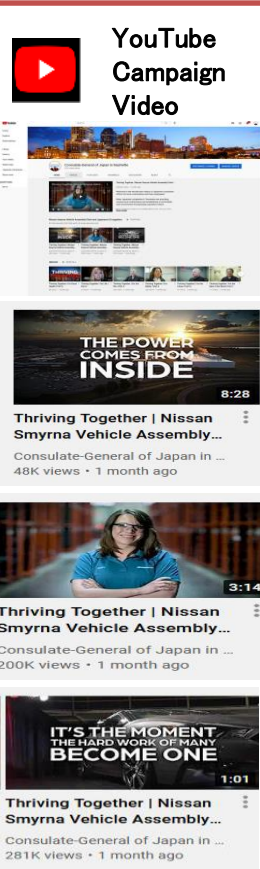


犬用おやつの試食

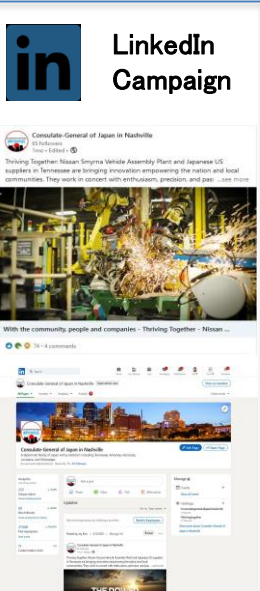
- 雑祭りにあわせ、セミナー及び試飲会を実施し、プロモーションを促進する契機となった。
- 犬を親善大使として起用し、**事前に現地主要テレビ局からの生放送インタビューも実現**でき、幅広く広報を行うことができた。
- 特に現地は、**健康志向が高く、グルテンフリーの食材の需要も高い中、米・米粉に高い関心**が寄せられた。飼い主も犬もグルテンフリーの米粉を体験できる形で活用方法を紹介した結果、現地貿易会社より、**米粉の輸入を検討したいとの声**があった他、**米国人パティシエのケーキ店では犬用の米粉を使用したおやつの販売が開始**された。
- Hartz社など**企業からの参加**も得ることができ、今後の**ペット業界での日米交流促進も期待**できる結果となった。

### 日時等

YouTube放映の様子



LinkedIn放映の様子



- 実施日時: 2021年5月14日(金)~6月10日(木)
- 訴求対象: テネシー州及び全世界
- 再生回数: 全体で6,700,000回  
(完全視聴数は490,000回)

- 令和2年度実施事業で制作した**日産スマーナ自動車工場関連の日系企業(北米日産会社(スマーナ)、ブリヂストン・アメリカス、デンソー、カサイノースアメリカ、ユニプレスアメリカ会社、東プレアメリカ、ヤザキ)**がテネシー州において多くの雇用を創出し、**州の経済に貢献していることを広報する動画を、**YouTubeやスマートTVなどの放映媒体を利用して、テネシー州を中心に米国全体(全世界)に向けて発信した。

- YouTube: 年齢と性別に大きな差はなく、**20~60代までの幅広い年齢層に閲覧された。**
- LinkedIn: 企業関係者(自動車業界が最も多い)にも閲覧され、**自動車、経営コンサルティング、小売、IT産業関連の企業等にインパクトを与えることができた。**
- また、動画内では、**北米日産会社をテネシー州に誘致した当時のアレクサンダー州知事・元連邦上院議員が「日産をはじめとする自動車産業が多くの市民の生活を支えている」、ロルフ経済開発庁長官は「日産とのパートナーシップを誇りに思う」と話し、動画に出演することで官民の連携による日米経済関係強化への取組をアピールした。**
- 今回の事業において、新たにナッシュビル総領事館YouTube及びLinkedInの公式チャンネルを作成したことにより、テネシー州のみならず全米及び全世界に対し、本動画等を通じて発信することが可能となった。本事業は実施後においても、長期間、多くの人々が閲覧可能なため、今後もテネシー州における日系企業の活動及び州・地域への貢献についての理解を促進する効果が期待できる。

### 効果

## 日時等



福嶋総領事による開会挨拶

- 実施日時: 2021年6月1日(火)
- 実施場所: オンライン形式
- 訴求対象: イベント参加者(米国一般市民)
- 開催規模: 24名

## 概要



デボラ・サミュエル氏による調理方法の紹介

- 日本発の非営利活動法人・テーブルフオーツととの共催イベントとして、**枝豆・大豆をテーマに日本の健康的な食生活や食文化を通じた和食育と共に日本産食材を紹介**するイベントを開催。
- 大豆の生産が盛んな南部州において、枝豆・大豆を用いた日本の健康食を紹介し、和食促進することを目的に、大豆を使用した料理の作り方や食材を紹介した。
- 料理のデモンストレーションではフードライターのデボラ・サミュエル氏による、日本産米及びしょうゆ(**日米貿易協定における日本側輸出関心品目**)を使用した枝豆パエリアやみたらし団子を実演し、併せて、**米国で購入できる枝豆・大豆の日本の菓子を**紹介した。



日本産米及びしょうゆを使用したみたらし団子

- 参加者の多くが米国人であり、実際に料理の紹介では一緒に作りながら、調理方法やコツ、材料を購入できる場所等の質問が多く出たことから、関心の高さがうかがえた。
- アンケートの結果において、回答者の100%が5段階評価で最も高い「満足」と回答し、高い評価が示された。本イベントを通じて和食、日本食文化及び健康的な食事について新たな学びがあったとの回答も示され、**日本への好感度を高める効果があった。**
- 日本食及び食材の広報については、本イベント中及び事後に、ナッシュビル総領事館のSNSにオンラインで購入できる**日本産米、しょうゆ、日本の豆菓子等の日本食材店を紹介し、今後の日本食文化の普及が期待できる。**

## 効果



日本産米及びしょうゆを使用した枝豆パエリア

## 日時等



- 実施日時: 2021年7月16日(金)
- 実施場所: オンライン形式
- 訴求対象: 主に在米に所在する日系企業、日本語教育関係者、学生
- 開催規模: 50人(30社・8団体・教育機関9校)

## 概要



福嶋総領事による開会挨拶



パネルディスカッションの様子

- 日米交流・次世代の人材育成を支援する在米NPO団体CEPEX(Center for professional Exchange)との共催で、日米における草の根交流を通じて、**日米経済の活性化と人材育成を目的としたオンラインセミナーを実施した。**
- セミナーでは「**揺らぐ国際情勢～米中欧のホンネ～**」をテーマとし、商社系シンクタンクである**双日総合研究所から専門家3名を招き、研究員の視点から多角的な分析・解説がなされた後、パネルディスカッションを行った。**
- 開催前には関係者・関係機関に対し積極的に周知すると共に、ナッシュビル総領事館ホームページやSNSにおいて全米中に広報を行い、他の在米公館の支援を得てSNS発信をより広範囲に行う等、事前の広報活動に努めた。

- 開催後のアンケートの結果において、**回答者の95%がセミナーに対し最も高い評価の「満足」と回答し、高い評価が示された。「セミナーを通じて、国際政治・経済情勢についての理解が深まったと共に新たな学びがあった」との回答も示され、草の根レベルでの交流を通じて更なる日米経済関係の活性化に向けた情報分析や予測等の有益な情報を提供することができた。**

## 効果

## 日時等



沖縄黒牛  
SUKIYAKI  
with Okinawa Wagyu Beef



鹿児島黒牛  
SUKIYAKI  
with Kagoshima Wagyu Beef



鹿児島黒牛  
SUKIYAKI  
with Kagoshima Wagyu Beef



鹿児島黒牛  
SUKIYAKI  
with Kagoshima Wagyu Beef



鹿児島黒牛  
SUKIYAKI  
with Kagoshima Wagyu Beef



鹿児島黒牛  
SUKIYAKI  
with Kagoshima Wagyu Beef

## 概要

## 効果

- 実施日時: 2021年12月10日(金)~2022年2月12日(土)
- 実施場所: テネシー州マーフリーズボロ市、メンフィス市、ケンタッキー州レキシントン市
- 訴求対象: ナッシュビル総領事館管轄州の米国人
- 開催規模: 各レストラン(メニュー提供)  
広報動画: 全世界の人々

- 日本の伝統食である「すき焼き」の由来や日本食文化を紹介する「すき焼きの紹介」及びレシピを紹介する「すき焼きの作り方」の2本の動画を制作し、ナッシュビル総領事館公式YouTubeチャンネル及びSNSに掲載し発信。
- 動画のリリースに合わせて、日本産和牛を使用した「日本産和牛メニューフェア」を、管轄州内の日本食レストランの協力の下で開催。
- 各店において、期間限定で日本産和牛を使用した「すき焼き」などのメニューを提供。また、各参加店のメニューとして、各店が使用する日本産和牛の産地の紹介を入れたメニュー表を作り、店内においても広報した。

- 日本産和牛を使用したメニューは、約2か月間で、3店の合計168食を提供。(内訳: すき焼き70食、しゃぶしゃぶ46食、握り寿司52食)。
- 日本産和牛にはあまり馴染みのない南部州の米国人に日本産和牛の美味しさを知ってもらう機会となった。注文者からは、日本産和牛はとても柔らかい、とろけるようだ、米国産和牛とは全く違う、今までに出会ったことのない美味しさに大満足、感動した、という声が多く寄せられ、高評価を得た。
- 本事業により、日本産和牛の知名度向上及び和食文化の理解促進、今後の消費拡大、輸出促進に繋がることが期待できる。



## 日時等



- 実施日時: 2022年3月2日(水)(動画撮影日)
- 実施場所: ケンタッキー州コビンソン市
- 訴求対象: 米国の一般人
- 開催規模: YouTube及びSNSにて広報動画を配信するため、全世界の人々

## 概要

- 2021年9月、米国は福島県産農産物を含む**日本産食品の輸入規制を撤廃**。これに伴い、**福島県産のコメや原木シイタケなどが米国へ輸出可能**となった。
- 本動画では、米国一般人が日常生活において馴染み深いパンやケーキを題材にした**福島県産の米粉を使った動画と、福島県の農産物が安全で美味しい**ということを、日本人女性ベーカリー店主が広報する動画を作成。
- 多くの米国人等が福島県農産物を身近に感じられるような内容で動画を作成し、ナッシュビル総領事館のYouTube、フェイスブック、Instagramに順次掲載(本省Twitterアカウント(英語版)でも発信)。

## 効果

- 本動画は、**福島県産米粉の広報及びパンやケーキと言った身近な食品から、日本の伝統的な米粉や食文化も広報できる動画**になった。
- 本動画作成にあたり、同店では試作品として、米粉を使った食パンとロールケーキを作って試験販売を行ったところ、**健康意識の高い人々や小麦粉アレルギーを持つ人々等に評価**され、定番商品となった。
- 本動画シリーズをきっかけに、**今後さらに福島県産米粉の知名度向上、輸入促進に繋がる**ことが期待できる。

## 日時等



- 実施日時: 2022年3月16日(水)
- 実施場所: ケンタッキー州レキシントン市
- 訴求対象: 招待客(ホテル・レストランシェフ・食品関係業者等)
- 開催規模: 地元関係者約40名(SNS広報は全世界)

## 概要



提供されたおにぎり

茨城県産米と  
和菓子(きぬのまゆ玉)

- 茨城県産米の特徴や味などを説明。冷めても美味しいコメであることから、参加者には、日本の伝統食である「おにぎり」として紹介。「おにぎり」は代表的な日本食文化であることを紹介することで、日本食文化への親しみ方や同県の柴沼しょうゆを使用した焼きおにぎりなどシンプルな食べ方を紹介できるイベントであった。
- 同県産の猿島茶は、1859年に、日本から初めて米国に輸出された緑茶であることや日本茶の健康的な効果を説明。また、簡単な淹れ方のデモンストレーションを行い緑茶を紹介。
- また、猿島茶のほうじ茶粉を使ったロールケーキ、和菓子を緑茶とともに提供し、総合的に日本食を紹介。

## 効果



猿島茶



- 参加者は、今後の日本産食品の輸出に繋がる関係者及びインフルエンサーを限定して、招待したことから約40名であったが、これまで日本産米を食べたことがある人だけでなく、初めて食べた人もおにぎりが大好評であった。参加者からは、同県産の商品の購入先の問い合わせや、現在使用しているカリフォルニア産米から茨城県産米に変えたい旨のコメントがあった。
- 日本の食文化であるおにぎりは、理にかなった食べ方であり、今後は自分でも作ってみたい、緑茶について新たな理解ができた等の高評価かつ満足度の高いコメントが多く寄せられた。今後も、このような日本産食品を紹介するイベントに、「ぜひ参加したい」と全員が回答。ケンタッキー州政府経済開発庁の貿易担当者からもイベントへの感謝が表明された。
- 本事業により、草の根レベルで日本の食文化の理解の促進、茨城県産米・緑茶等を通じて、日本産米及び日本茶の魅力を紹介できた。

## 日時等



- 実施日時: 毎月1回実施(初回2021年4月16日(金))
- 実施場所: ニューヨーク州ニューヨーク市  
在NY総領事・大使公邸(オンライン配信)
- 訴求対象: 一般市民
- 開催規模: 各回1,500回程度(オンライン視聴回数)

## 概要

- 新型コロナウイルスにより困難に直面している**日本人音楽家等を支援**するため、毎月1回金曜日に公邸にて音楽コンサートを実施した。
- ジャズ、クラシック、**日本伝統音楽の3つのジャンルを月ごとに順次実施**した。
- 新型コロナウイルス対策のため、観客を最小限とする一方で、コンサートの模様をニューヨーク総領事館Facebookアカウントを通じて**ライブ配信**を行い、ニューヨーク市民のみならず、**世界中で視聴できるよう整備**した。
- コン서트実施後はニューヨーク総領事館YouTubeアカウントでも動画を公開した。

## 効果



- 公邸で対面のみでコンサートを実施した場合、最大でも80人程度しかゲストを招待できないところ、オンラインで配信することにより、視聴回数ベースではあるが、**20倍近くもの人々に音楽を届けることができた**。
- また、ライブ配信時には、ニューヨーク市民のみならず、ポルトガルやオーストラリアといった**世界各地から応援のメッセージ**が届いた。
- 毎月実施される本コンサートはニューヨークでの注目も高く、**日本人音楽家のプレゼンスの向上**に資するものとなっている。

## 日時等



米ニューヨークで恒例 日本文化紹介する催し オンライン開催  
2021年5月9日 18時00分



- 実施日時: 2021年5月9日(日)
- オンライン形式(Japan Day 公式HP及びSNS上で配信)
- 訴求対象: ニューヨーク総領事館管轄地域の米国人
- YouTube視聴回数: 110,000回(2021年5月25日時点)
- Facebook視聴回数: 1,200回(2021年5月25日時点)

## 概要

- 新型コロナウイルス感染症の影響で「Japan Day」(毎年5月にNYで開催される大型日本紹介事業)のインパーソンでの実施が困難であったことから、代わりにJapan Dayの精神(ニューヨークへの感謝、日米市民交流の促進、日系コミュニティの連携強化)を示すメッセージを動画で発信。
- **サンドラ・エンドウ氏**(第一回イベントから司会を務める日系ジャーナリスト)、**山野内NY総領事(大使)**、**久保純子氏(TVキャスター)**からのビデオメッセージ
- 過去のJapan Dayに出演したアーティストが日本文化を紹介(タイムズスクエアを背景によさこい踊りによる感謝の表示等)。
- ニューヨークへの感謝のメッセージを入れた**Japan Day特製エコバッグ**を製作し、日系食料品店や書店、日米交流団体等を通じて配布。

## 効果

- **NHK**(World News -Japanやおはよう日本)等で広くキャリー。
- オンラインの利点を活用し、**従来の参加人数(約50,000人(過去3年平均))を上回る視聴回数(合計約111,000人)**が得られ、**広く日本文化やJapan Dayの精神をニューヨークに紹介する契機**に。
- 当初計画していた日本パレード(注)の2022年実施に向け、機運を醸成する機会に。  
(注)万延元年遣米使節団(正使:江戸幕府外国奉行新見豊前守正興)が1860年にNY訪問をして160年という節目にあたる2020年に日本パレードを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期。

## 日時等



- 実施日時: 2021年5月26日(水)
- 実施場所: ウェビナー
- 訴求対象: 在ニューヨーク及びニューヨーク近郊の投資家・金融機関等
- 開催規模: 36名

## 概要



講演者: 上田淳二  
財務省総合政策課  
経済財政政策調整官

- 米国の金融・経済の中心地であるニューヨークにおいて、「**日本のマクロ経済情勢、財政政策**」をテーマに米国の投資家・金融機関等向けウェビナーを開催。
- 質疑応答では、日本の人口動態の変化が経済に与える長期的な影響等の質問に対し、講演者が的確に回答するなど活発な意見交換が行われた。

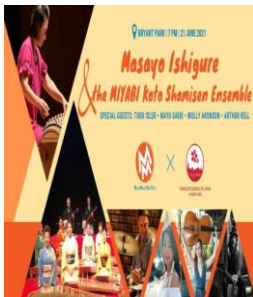
## 効果



ウェビナーの様子

- 任意のアンケートを実施したところ、**満足度は5段階評価で平均4.1の評価を得た**(有効回答数17名)。また、**こうした取組の継続を要望する声も多数寄せられた**。
- 今後のウェビナーで聴講したい(1)テーマ、(2)産業については、以下の回答があった。  
(1)テーマ: マクロ経済、財政政策、労働市場・人口動態、フィンテック  
(2)産業: 金融、情報技術、エネルギー、インフラ

## 日時等



- 実施日時: 2021年6月21日(月)
- 実施場所: ニューヨーク州ニューヨーク市  
ブライアント・パーク
- 訴求対象: 一般市民
- 開催規模: 600名

## 概要



- 音楽関連団体であるMake Musicと共催で6月21日の**Music Day New Yorkにて和楽器演奏コンサート**を実施。
- Music Day New Yorkは**セントラル・パークを始め様々なオープンスペースで多数のミュージシャンによる同時演奏を行うイベント**であり、過去15年間で約1,000回の無料コンサートを実施し、約5,000名のアーティストが参加。
- 箏、三味線による日本の伝統的な楽器による演奏の第1部と、フルート、ベース、チェロ、パーカッションの西洋楽器とコラボする第2部の2部構成で実施。

## 効果



- ニューヨーク総領事館が関わる、新型コロナウイルス感染症の流行後初の大型野外イベントであり、自由参加の形態であったものの、推定で**600名以上の観客**が参加。
- 参加者からは**ニューヨークのリオープンを印象付ける良いイベント**であった旨の声を多数聞くことができた。
- 箏、三味線の**日本の伝統楽器**とフルート、ベースといった**西洋の楽器のコラボレーションについて大きな反響**があり、**日本の音楽を効果的に発信**することができた。

## 日時等



- 実施日時: 2021年7月4日(日)・7月11日(日)～8月12日(木) (計 14日間)
- 形式: 対面+オンライン(公式HP・SNS・YouTubeで発信)
- 訴求対象: ニューヨーク市内の在日本人及び米国人
- ミュージシャン応募総数: **56組**
- イベント来場者(延べ): **約1,070名**
- YouTube視聴回数(延べ): 550回(2021年8月30日時点)

- 新型コロナウイルスの影響により活動が制限されていた**在NY日本人ミュージシャンの今後の活動を支援**するため、NYの経済活動が再開されてきたタイミングにて対面式(屋外会場、雨天時は屋内)での音楽イベントを、ブルックリン区インダストリーシティ内にある「**ジャパン・ビレッジ**」主催・**ニューヨーク総領事館共催**にて実施。
- 本イベントの入場料は無料とし、日本人だけでなく米国人にも日本人の音楽を楽しむ機会を広く提供。
- 音楽イベントでは、在NY日本人ミュージシャンの活動支援のため、**演奏の映像・音源データも提供**した。
- 7月4日(日・祝)のオープニングセッションでは、**山野内NY総領事**が出演し、アメリカ国歌を演奏するなど日米の文化交流も果たした。

## 概要

## 効果

- 現地日系メディアで**8件**、**The Brooklyn Paper**などのローカルメディアで**2件**の露出を獲得。公式インスタグラムの投稿では、**220件のいいね!**を獲得。
- 出演者アンケートでは、「**家族連れなど世代を問わず楽しめるイベント**」などの回答もあるなど参加者の**満足度も高かった**。
- 14日間でのイベント来場者は**約1,070名**で、**約7割が米国人**であった。
- 各演奏日の最終セットは**抽選を外れてしまった出演希望者や米国人アーティスト**などが飛び入りで参加し、日米での音楽交流をできる機会となった。
- 当イベントの紹介を通じて、**Chaplain Ingrid P. Lewis-Martinブルックリン副区長**とNY総領事館松本首席領事との会談が実現する等、**ブルックリン区ハイレベルとの人脈形成に効果があった**。
- ジャパン・ビレッジに併設された**日本食フードコート**や**日本食スーパー**の売り上げ増加に繋がり、**日本食の理解促進・普及に貢献**した。

## 日時等



- 実施日時: 2021年9月18日(土)
- 実施場所: コネチカット州フェアフィールド郡  
ウエストポート
- 訴求対象: 一般市民
- 開催規模: 300名

## 概要



- フェアフィールド郡日米協会との共催で秋祭りを実施した。
- 盆踊りを中心に、和太鼓演奏、武術演舞、バルーンを用いたおとぎ話「桃太郎」の演劇等の各種日本文化を紹介した。

## 効果



- 会場地域周辺は**比較的日本文化に接する機会の少ない地域**であり、日本の祭り紹介とともに**日本のプレゼンスを示す良い機会**となった。
- コロナの影響が残る中での対面式での開催であったが、想定以上となる約300名が参加した。
- 本イベントの実施について**多数の感謝の言葉が参加者から寄せられる**など、長引くコロナ禍により人々が対面式のイベントを求めていることが感じられた。



## 日時等



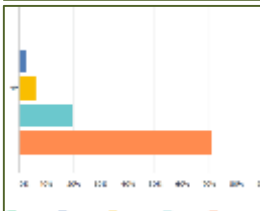
- 実施日時: 2021年9月29日(水)
- 実施場所: オンライン形式(Japan Society公式HP及びSNS上で配信)
- 訴求対象: 米国人知識層、一般米国人他
- YouTube視聴回数: 6,007回(2022年3月30日時点)
- 最大同時視聴者数: 588名

## 概要



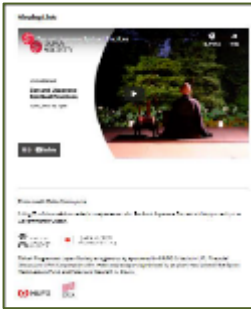
- 全5回のオンラインセミナー”Living Traditions”第1回“**The Japanese Garden: Living Classroom of Nature, Architecture & Culture**”を開催(日米交流団体Japan Society主催)。
- 歴史、建築、芸術哲学という視点から、日本庭園について解説。**歴史の中で日本庭園がどのように形作られ、認知され、現代社会に影響を与えてきたか**を探った。
- モデレーターは**中西玲人氏**(ポートランド日本庭園財団総合企画部長)、パネリストには**Kendal Brown氏**(カリフォルニア州立大学ロングビーチ校アジア美術史教授)、**Dana Buntrock氏**(カリフォルニア大学バークレー校建築学教授)、**Dakin Hart氏**(ノグチ美術館 シニア・キュレーター)の3名を迎えた。

## 効果



- オンラインでの実施により、**全米各地から多数の参加**が実現。また米国に限らず、**欧州、アジア等からの参加者**もみられた。
- ライブでの配信に加え、YouTubeでアーカイブ配信を行ったことで、多くの視聴者(約6,000名)へ、日本庭園の魅力発信を実現した。
- 参加者の**91.33%**がイベントに非常に満足したもしくは満足したと評価した。
- 特に、多様なバックグラウンドを持つパネリストによる議論を通して、**学際的な視点から日本庭園を捉えられた点**を評価する回答が多く、日本の魅力発信に資する有意義な事業となった。

## 日時等



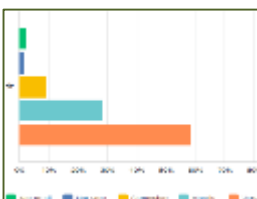
- 実施日時: 2021年10月20日(水)
- 実施場所: オンライン形式(Japan Society公式HP及びSNS上で配信)
- 訴求対象: 米国人知識層、一般米国人他
- YouTube視聴回数: 3,345回(2022年3月30日時点)
- 最大同時視聴者数: 377名

## 概要



- 全5回のオンラインセミナー”Living Traditions”第2回“Zen and Japanese Spiritual Practices”を開催(日米交流団体Japan Society主催)。
- 日本と西洋における禅の役割と認識について議論すると同時に、**両地域における禅の実践の仕方の違いと、コロナ後の世界における道筋についても言及。**
- モデレーターは**Paul S. Atkins氏**(ワシントン大学アジア言語・文学教授)、パネリストには**松山大耕氏**(臨済宗大本山妙心寺退蔵院副住職、スタンフォード大学客員講師)、**目片祥子氏**(ハーバード大学東南アジア研究科博士研究員)、**Dave Morin氏**(オフライン・ベンチャーズ共同創業者マネージング・ディレクター、エサレン協会会長)の3名を迎えた。

## 効果



- オンラインでの実施により、**全米各地から多数の参加**が実現。また米国に限らず、**欧州、アジア等からの参加者**もみられた。
- ライブでの配信に加え、YouTubeでアーカイブ配信を行ったことで、多くの視聴者(約3,300名)へ、禅の魅力発信を実現した。
- 参加者の**86.78%**がイベントに非常に満足したもしくは満足したと評価した。
- 日本と米国における禅の実践の違いに関して学びが多かったという声や、**イベントを通して日本に対する好感度が高まった**という声が多数寄せられた。

## 日時等



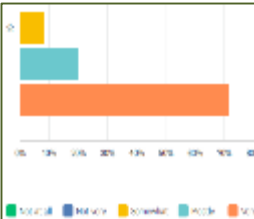
- 実施日時: 2021年11月12日(金)
- 実施場所: オンライン形式(Japan Society公式HP及びSNS上で配信)
- 訴求対象: 米国人知識層、一般米国人他
- YouTube視聴回数: 2,582回(2022年3月30日時点)
- 最大同時視聴者数: 198名

## 概要



- 全5回のオンラインセミナー”Living Traditions”第3回“**Eiichi Shibusawa: The Spirit of Japanese Ethical Capitalism & Sustainability**”を開催(日米交流団体Japan Society主催)。
- 渋澤栄一の没後90周年を記念し、渋澤の教えや残した言葉の今日における妥当性について討論。渋澤による社会課題解決に向けた考え方や「新しい資本主義」への意味合いにも言及。
- モデレーターは**Joshua W. Walker氏**(Ph.D. President & CEO Japan Society)、パネリストには**Christina Ahmadjian氏**(一橋大学大学院商学研究科教授)、**渋澤健氏**(シブサワ・アンド・カンパニー代表取締役、commons投信取締役会長)の2名を迎えた。

## 効果



- オンラインでの実施により、**全米各地から多数の参加**が実現。また米国に限らず、**欧州、アジア等からの参加者**もみられた。
- ライブでの配信に加え、YouTubeでアーカイブ配信を行ったことで、多くの視聴者(約2,600名)へ発信を実現した。
- 参加者の**91.43%**がイベントに非常に満足したもしくは満足したと評価した。
- 日本は前向きに変化を追い求め、他国からのアイデアも柔軟に受け入れる国であるという印象を与えることができ、**イベントを通して日本に対する好感度が高まった**という声が多数寄せられた。

## 日時等



ヴァーチャル・インフルエンサーを用いた公演



ステージ上での演奏の様子



林ゆうき氏(作曲家)



ブース展示



日米の演奏家

ニューヨーク総領事館  
Twitterで発信

## 概要

- 実施日時: 2021年11月19日(金)~21日(日)
- 実施場所: ニューヨーク市ジャビッツ・センター
- 訴求対象: ニューヨーク総領事館管轄地域の米国人
- 開催規模: 3日間延べ来場者数100,000名以上、事前広報動画: (YouTube視聴回数62,000回、Facebook視聴回数: 13,000回(2022年3月時点))

- ニューヨーク最大規模のアニメコンベンション「アニメNYC」は2年ぶりに有観客で開催され、非常に多くの参加者が来場した。
- **山野内ニューヨーク大使による「鬼滅の刃」テーマソングのピアノ演奏**を事前収録し、**ニューヨーク総領事館SNSで広報**した。
- ニューヨーク総領事館はアニメNYCと共催し、会場メインステージ上の巨大スクリーンに**日本発祥の最新アニメ技術(ヴァーチャル・インフルエンサー)**を用いた公演を行い、メインステージ前のブースでは、ヴァーチャル・インフルエンサーを紹介する展示を行った。
- ステージ上では、**日米演奏家によるアニメ「僕のヒーローアカデミア」の各テーマソングの演奏**を行った。

- 著名な**若手作曲家の初のニューヨークでの本格的なイベント公演**を総領事館が支援したことで、日本のアニメ関係者のニューヨーク進出を慫慂。
- 最新アニメ技術のNYの大規模アニメコンベンションへの**初出展**を総領事館が支援し、**実績**を残したことで、アニメ関連企業の海外進出の足掛かりを形成。
- 現地の主要米系アニメ企業と総領事館が連携して事業を実施したことで、本年5月に初開催を予定している「ジャパン・パレード」に多くのアニメ関係者が参加予定となる等、早くも様々な波及効果・モメンタムが発生。
- 日本アニメに見識のある**ベン・ケイロス・ニューヨーク市議会議員より、総領事館によるアニメを通じた日米経済関係強化の取り組み**を評価する旨発言があった。

## 効果

## 日時等



- 実施日時: 2021年12月1日(水)
- 実施場所: オンライン形式
- 訴求対象: ニューヨーク在住の金融関係者
- 参加者: 30名

## 概要



山野内総領事の挨拶



参加者に配送された日本酒と料理

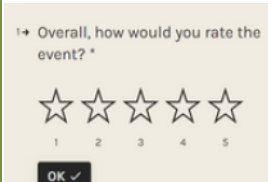


1. Wataribune Junmai Ginjo



- 発信力が高いニューヨークの金融関係者に対して、日本酒の魅力伝えることで、日本酒の認知度向上を目指すとともに、金融関係者とのコミュニケーションの円滑化を図るため、オンラインセミナーを実施。
- 山野内総領事(大使)の挨拶に続き、**外部講師や酒蔵からのプレゼン**を実施し、日本酒とワインの比較や、製造工程・原材料など日本酒の基礎を説明。
- 参加者(約30名)には、事前に日本酒及び料理を配送することで、**セミナーの中で実際に試食・試飲ができるよう工夫し、日本酒のテイastingや料理とのペアリングを解説。**

## 効果



- 参加者の90%以上がフルで視聴し、アンケート結果によれば、セミナー全体の評価は、**5点満点で4.85点という高評価**。また、「**日本酒に対する理解・関心が深まった**」、「**更に日本酒を試してみたい**」との具体的なコメントが多数あった。
- プレゼンテーションだけでなく、参加者との意見交換の機会を多く設け、「酒の旨味を計測する指標はあるか」、「酒の温度は何度が適切か」など、参加者から10件の積極的な質問が出るなど、目標としていた**インタラクティブなセミナー**を行う事が出来た。
- 参加者にはマンハッタンで**実際に日本酒を購入できる場所の情報を共有**した。日本酒の魅力と認知度向上の機会になり、**現地での販売・消費の促進効果も期待**出来る。

## 日時等



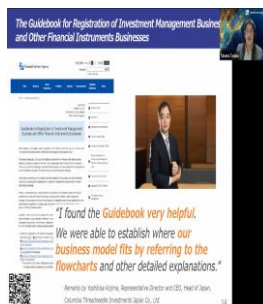
- 実施日時：2021年12月6日（月）
- 実施場所：ニューヨーク州ニューヨーク市
- 訴求対象：在ニューヨーク及びニューヨーク近郊の投資家・金融機関等（Franklin Templeton、BBH等）
- 開催規模：69名

## 概要



- 日本政府が一体となって取り組んでおり、投資家の関心も高い政策分野の一つである「**世界に開かれた国際金融センターの実現**」をテーマに、米国投資家等向けウェビナーを開催した。同テーマでの開催は、3月に続き2度目。
- 開催にあたり、米国外で関心のある金融機関等にも参加を呼びかけた。金融庁監督局参事官から、**外国の金融機関や投資家を日本に誘致することを目的とした省庁横断的取組み**や、3月以降のアップデートについて**発信した**。
- 投票機能や質疑応答の機会を活用し、講演者と参加者との間で活発な意見交換が行われた。

## 効果



- 任意のアンケートを実施したところ、①満足度は5段階中で平均4.2、②理解度は4段階中で平均3.3と、総じて高い評価を得た（有効回答数25名）。
- セミナーに対する具体的なコメントとして、**多くの新しい情報を学ぶことができた**、金融センターとしての日本について**理解を深めることができた**、金融規制の問題について**関連省庁と対話する良い機会**だった、といった意見が見られた。
- また、日本はグローバルな競争相手と比較しても最良の規制環境を確立した、など**政府の取組を評価する声**が多数寄せられた。
- アンケート外でも、**日本での拠点設置の可能性について検討すべく、講演者とのコンタクトを希望する米国金融機関がみられた**。

## 日時等



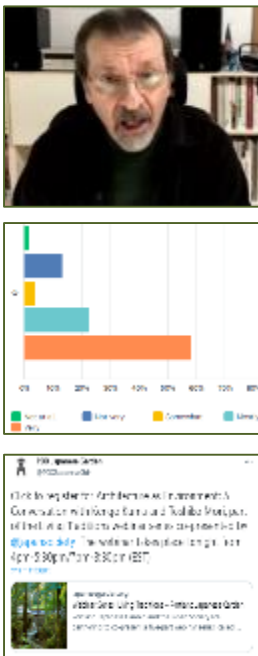
- 実施日時: 2021年12月16日(木)
- 実施場所: オンライン形式(Japan Society公式HP及びSNS上で配信)
- 訴求対象: 米国人知識層、一般米国人他
- YouTube視聴回数: 2,462回(2022年3月30日時点)
- 最大同時視聴者数: 370名

## 概要



- 全5回のオンラインセミナー”Living Traditions”第4回“**Architecture as Environment: A Conversation with Kengo Kuma and Toshiko Mori**”を開催(日米交流団体Japan Society主催)。
- 現代における建築物と自然環境の関連性を日米双方の視点から探った。異文化間のダイナミクスに関する議論に加え、今後の建築において地域社会と深いつながりを生み出す重要性にも言及。
- インタビュワーは**Botond Bogнар氏**(イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校建築学教授)、モデレーターは**Ken Tadashi Oshima氏**(ワシントン大学建築学教授)、パネリストには**隈研吾氏**(建築家、東京大学特別教授・名誉教授)、**森俊子氏**(ハーバード大学大学院デザイン研究科建築実務教授)の2名を迎えた。

## 効果



- オンラインでの実施により、**全米各地から多数の参加**が実現。また米国に限らず、**欧州、アジア等からの参加者**もみられた。
- ライブでの配信に加え、YouTubeでアーカイブ配信を行ったことで、多くの視聴者(約2,500名)へ発信を実現した。
- 参加者の**81.13%**がイベントに非常に満足したもしくは満足したと評価した。
- 特に日本の建築におけるサステナビリティの精神に共感する意見が多く、**イベントを通して日本に対する好感度が高まった**という声が多数寄せられた。

## 日時等



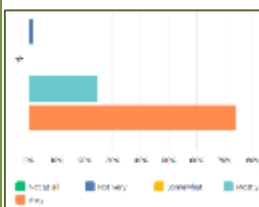
- 実施日時: 2022年2月16日(水)
- 実施場所: オンライン形式(Japan Society公式HP及びSNS上で配信)
- 訴求対象: 米国人知識層、一般米国人他
- YouTube視聴回数: 3,375回(2022年3月30日時点)
- 最大同時視聴者数: 415名

## 概要



- 全5回のオンラインセミナー”Living Traditions”第5回“**Japanese Pop Culture: Connecting the World through Manga and Anime**”を開催(日米交流団体Japan Society主催)。
- **漫画・アニメが世界に与えた影響、米国での人気、今後の可能性**について討論。斬新な**マルチメディア体験を提供する事例**や**日本における漫画クリエイターの待遇に関する問題意識**に関しても言及。
- モデレーターは**William Tsutsui氏**(オタワ大学学長、歴史学教授)、パネリストには**Roland Kelts氏**(作家、ジャーナリスト、学者、早稲田大学非常勤講師)、**Julia Mechler氏**(漫画家、株式会社ミクシィコンテンツ・プロダクション・グループ・マネージャー)の2名を迎えた。

## 効果



- オンラインでの実施により、**全米各地からの多数の参加**が実現。また米国に限らず、**欧州、アジア等からの参加者**もみられた。
- ライブでの配信に加え、YouTubeでアーカイブ配信を行ったことで、多くの視聴者(約3,400名)へ、漫画・アニメの深い魅力発信を実現した。
- **漫画・アニメに関してすでに関心が高い層と、あまり関心が高くない層の両方が参加**していたが、参加者の**98.37%**がイベントに非常に満足したもしくは満足したと評価した。
- 特に漫画・アニメの歴史的な起源に関して学びが多かったとする意見が多く、日本文化の魅力発信に資する有意義な事業となった。



### 日時等



- 実施日時：2022年2月17日（木）
- 実施場所：ニューヨーク州ニューヨーク市
- 訴求対象：在ニューヨーク及びニューヨーク近郊の投資家・金融機関（投資ファンド、大手銀行等）
- 開催規模：51名

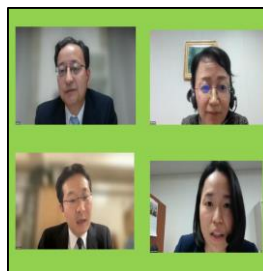
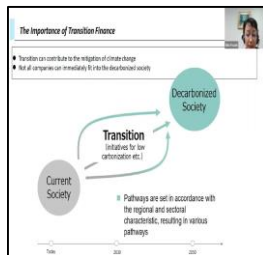
### 概要



- 気候変動が世界的に注目を集める中、日本政府が重点的に取り組んでおり、投資家の関心も高い政策分野の一つである「**日本における持続可能なファイナンスの促進**」をテーマに、米国投資家等向けウェビナーを開催した。
- **金融庁の西田サステナブルファイナンス推進室長、他がプレゼンテーションを実施し、企業開示の向上、市場機能の発揮、金融機関の投融資先支援とリスク管理等について説明。**
- **その後、金融庁の井藤総括審議官等も含めて、質疑応答を実施し、講演者と参加者との間で活発な意見交換が行われた。**

GHG Emission Reduction Targets by Country		
	NDC (Target by 2030)	Net Zero by 2050
UK	at least 50% by 2030, compared to 1990 levels (December 2020, NDC submission)	Planned
EU	at least 55% by 2030, compared to 1990 levels (December 2020, NDC submission)	Planned
Canada	40-45% by 2030, compared to 2005 levels (July 2021, NDC submission)	Planned
Japan	46% by 2030, compared to 2013 levels "Efforts will be continued in the dialogue to further increase the goal to 50% (October 2021, NDC submission)"	Planned
US	50-52% by 2030, compared to 2005 levels (April 2021, NDC submission)	Planned
China	Lower CO <sub>2</sub> emissions per unit of gross domestic product (GDP) by one 2005 level from the 2002 level (Declaration by President Xi Jinping, on December 12, at the Climate Action Summit)	Planned to be implemented (China aims to achieve carbon neutrality before 2050)

### 効果



質疑応答の様子

- 任意のアンケートを実施したところ、①満足度は5段階中で平均4.1、②理解度は4段階中で平均3.3と、総じて高い評価を得た（有効回答数11名）。
- セミナーに対する具体的なコメントとして、**タイムリーに重要な課題について多くの新しい情報を学ぶことができた、政府の考えや具体的な課題を深く理解することができた**、といった意見が見られた。
- また、日本市場に海外金融機関を誘致するため定期的に海外に情報を発信することは重要、今後もこのようなセミナーを開催し幅広い話題を提供してほしい、など**今回のような情報発信の取組を評価する声が寄せられた。**
- 本ウェビナーを通じて、**持続可能なファイナンスに関する日本の取組みについて情報発信**することで**日本への関心を高め、日米経済関係強化に繋がる機会**となった。

## 日時等

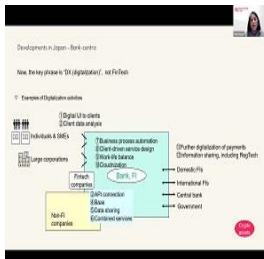


- 実施日時：2022年3月3日（木）
- 実施場所：ニューヨーク州ニューヨーク市
- 訴求対象：在ニューヨーク及びニューヨーク近郊の投資家・金融機関（投資ファンド・大手銀行等）
- 開催規模：34名

## 概要



河合裕子氏



プレゼンテーションの様子

- 日本企業・政府においてデジタル・トランスフォーメーションの取組みが進められているところ、とりわけ**国内外の注目度が高い分野である「日本のフィンテックの動向」**をテーマに、米国投資家等向けウェビナーを開催した。
- フィンテック企業関連団体である日本フィンテック協会の河合祐子氏（理事）、貴志優紀氏（常務理事）、及び鬼頭武嗣氏（代表理事副会長）が、**実務者の視点から、日本のフィンテック企業の現状・課題・今後や、政府の取組とその評価について発信した。**
- パネルディスカッションや質疑応答の機会を活用し、講演者と参加者との間で活発な意見交換が行われた。

## 効果



貴志優紀氏



鬼頭武嗣氏

（パネルディスカッション、意見交換の様子）

- 任意のアンケートを実施したところ、①満足度は5段階中で平均4.4、②理解度は4段階中で平均3.6と、総じて高い評価を得た（有効回答数7名）
- セミナーに対する具体的なコメントとして、**様々なパネリストの意見や、視点が聞けて良かった、中国など他国と比較した日本のフィンテックの状況やフィンテックがどのようにデジタルトランスフォーメーションを促しているのかが良く理解できた、**といった意見が寄せられた。
- 本ウェビナーを通じて、日本の金融・経済情勢や政策の方向性について情報発信することで**日本への関心を高め、日米経済関係強化に繋がる機会となった。**

## 日時等



- 実施日時: 2022年3月29日(水)
- 実施場所: オンライン形式
- 訴求対象: ニューヨーク在住の金融関係者
- 参加者: 25名

## 概要



森ニューヨーク総領事  
(大使)の挨拶



事前に配送した  
日本酒・焼酎等

- ニューヨーク経済の中心に立ち、発信力が高い金融関係者に対して、**日本酒・焼酎の魅力を伝えることで、その認知度向上を目指す**とともに、金融関係者とのコミュニケーションの円滑化を図るため、オンラインセミナーを実施。
- **森ニューヨーク総領事(大使)の挨拶**に続き、**外部講師からのプレゼンテーション・パネルディスカッション**を実施し、製造工程・原材料など基礎を説明するとともに、日本酒と焼酎の比較等を紹介。
- 参加者には、事前に日本酒・焼酎及び料理を配送することで、**セミナーの中で実際に試食・試飲ができるよう工夫**し、日本酒・焼酎のテイastingや料理とのペアリングを解説。

## 効果



- 参加者の90%以上がフルで視聴し、アンケート結果によれば、セミナー全体の評価は、**5点満点で4.68点という高評価**。また、「**焼酎を飲むのは初めての経験で、今後積極的に試したい**」、「**製造過程や原材料に関する説明が興味深かった**」との具体的なコメントが多数あった。
- プレゼンテーションだけでなく、参加者との意見交換の機会を多く設け、参加者から10件の積極的な質問が出るなど、目標としていた**インタラクティブなセミナー**を行う事が出来た。
- 参加者の関心もあった、マンハッタンで実際に日本酒・焼酎を購入できる情報(小売り・オンライン)を共有したことで、今後の**日本酒・焼酎の認知度向上の機会になり、販売・消費の拡大が期待**される。

## 日時等



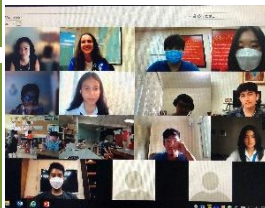
イベントフライヤー

- 実施日時: 2022年2月19日(土)~27日(日)
- 実施場所: グアム準州(オンライン開催)
- 訴求対象: グアム準州在住の米国人
- 視聴実績: JCEG2022公式ウェブサイト閲覧者数336名。Facebookフォロワー90名、Instagramフォロワー749名・アカウント閲覧数52,997名

## 概要

レオン・ゲレーロ  
グアム準州知事グアム日系人への  
インタビュー

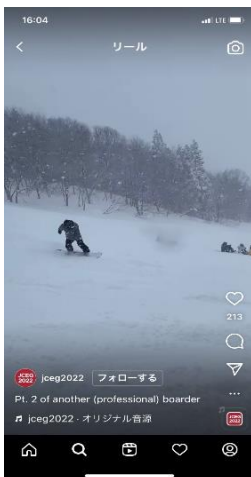
- 新型コロナウイルスの影響で、毎年グアム日本人会が実施していた「秋祭り」が2年連続で中止になったため、オンラインイベント「JCEG2022」を開催し、**日本の魅力を多くのグアム在住米国人に紹介し、日本への理解を深めてもらう機会を提供した。**
- 同イベントでは、「The bonds between Japan and Guam」と題し、**グアム準州知事**やグアム日系人等、日本にゆかりの深いグアムの人々に、**日本との関係やその魅力についてインタビューした動画やJET卒業生とグアム現地校・日本学校の生徒とのオンライン交流の様子をTV番組及びSNS上で配信。**
- **バーチャル日本ツアー**と題し、日本各地の映像や、合気道、極真空手の紹介動画をSNS上で配信。



学生間交流の様子

- Instagramを活用し日本各地の様子を英語でレポートする映像を配信したところ、特に雪景色やスノーボードの映像の視聴回数が他の映像に比べても高く、雪を知らないグアムの人々の日本の雪国やウィンタースポーツに対する関心の高さがうかがわれ、**身近なウィンター・リゾート先としての日本をアピールでき、今後のインバウンド効果につながった。**なお、Instagramをはじめとする、幅広いSNSのユーザーに日本の魅力をアピールする契機となった。
- JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)卒業生とグアム現地校の生徒との交流イベントでは、子ども達から積極的に質問が出る等、**将来、日グアム関係の一躍を担う存在となる人材育成の一助となった。**

## 効果



Instagram 配信

## 日時等



「鬼滅の刃」の衣装

- 実施日時: 2021年7月8日(木)～11日(日)
- 実施場所: テキサス州ヒューストン市
- 訴求対象: アニメや日本文化に興味を持つ米国人
- 開催規模: 600人(アニメ祭り全体では、4日間で延べ約60,000人が来場)

## 概要



総領事館ブース



プレゼンテーション

- 北米第4位の規模を誇るアニメ・コスプレ及び日本文化紹介イベントである「**アニメ祭り(Anime Matsuri)**」に**総領事館として参加**。開会式においては、ターナー・ヒューストン市長とともに、**福島総領事(当時)が「鬼滅の刃」の衣装を着て登場**。
- 会場となったブラウン・コンベンションセンター内に**総領事館ブースを設置し、「絵馬」を題材とした日本文化紹介や、体験アクティビティ、JETプログラム、日本留学、観光情報を発信**。
- 会場内のイベント・スペースで、総領事館職員から、簡単な日本語講座やアニメに使われるシーンと現実の対比を紹介するプレゼンテーションを実施。また、「**東京オリパラ**」と「**日本の妖怪**」をテーマとした**プレゼンテーションも実施**。
- 会場外では、和楽器によるコンサートや相撲大会が開催されたほか、お祭り屋台をイメージした飲食スペースが実施されるなど、アニメ以外の日本文化の紹介も行われた。

## 効果



相撲大会

- 開会式での市長と総領事のコスプレは話題となり、地元メディアが写真を掲載したほか、一般市民から文化交流を楽しむ両者の姿に好意的な意見が寄せられ、**日本に対する良好なイメージ形成**に繋がった。
- 総領事館ブースとプレゼンテーションに関する来場者アンケートでは、**アニメやマンガ等との共通点や相違点という視点で日本の文化や風習、慣習等を深掘りして紹介する手法を評価する声が多く、日本の実像についてより理解が深まった**、好きな日本の作品内に出てくる文化的な事柄について調べてみたくなった、という前向きなコメントが多く寄せられた。

## 日時等



福島ヒューストン総領事(当時)

スティック元在ダラス  
日本国名誉総領事

七条在ダラス名誉領事



シーファー元駐日大使

ヴォルカー・リチャード  
ドソン市長西谷ヴァーチャラス・  
キャピタル社長

会場の様子



動画(一般市民向け)

- 実施日時: 2021年9月24日(金)
- 実施場所: テキサス州プレイノ(ダラス近郊)
- 訴求対象: 北テキサスの政治家、企業関係者ほか
- イベント出席者: 30名
- YouTube視聴回数: 180回(全体版) 100回(短縮版)
- Facebook視聴回数: 50回(短縮版)(2021年11月末現在)

## 概要

- ジョン・スティック元在ダラス日本国名誉総領事は、16年の任期において、**日本と北テキサスの友好親善と交流を促進**するとともに、特に**北テキサスへの日本企業進出に貢献**したことから、2020年、旭日中綬章を受章していた。
- スティック氏の**勲章伝達式の様子**の動画(全体版)を作成し、北テキサスの政治家、米国企業、日本企業、日米交流関係者等に送付した。
- 一般市民向けの動画(短縮版)も作成し、総領事館のウェブサイト及びFacebookに掲載した。

## 効果

- スティック氏は、受章スピーチにおいて、**北テキサスにおける日本企業の数**が過去10年間で**2倍以上に増えた**ことなど、**同地域への日本企業進出の歴史を説明し、日本企業の貢献をアピール**した。
- 来賓による祝辞として、七条在ダラス名誉領事、シーファー元駐日大使、ヴォルカー・リチャードソン市長や日本企業関係者が、**それぞれの立場から良好な日米の経済関係に言及**した。
- 動画の視聴回数は、全体版180回、短縮版150回(YouTubeとFacebookの合計)となり、招待客に限らず、地元の一般市民にも発信することができた。
- 動画の視聴者からは、**すばらしいイベントであった、動画を関係者に共有したい、などの反応があった。**

## 日時等



- 実施日時: 2021年11月20日(土)
- 実施場所: テキサス州フリスコ
- 訴求対象: ダラス・フォートワース地域の米国人
- 開催規模: 約2,000人

## 概要



- 日本企業数が過去10年で2倍以上に増加し、日本への関心が年々高まっているダラス・フォートワース地域において、**秋の行事の「お月見」をテーマ**に交流イベントを開催した。
- ステージでは、**太鼓や尺八、居合道**のパフォーマンスや**俳句コンテスト**等日本文化を紹介するイベントを実施した。
- ブースでは、日本文化関係団体が**書道や折り紙、生け花等の体験アクティビティ**を行い、また、**日本企業ブース(伊藤園、日本航空)**を出展し、日本企業の取組を宣伝した。
- 出店エリアでは、地元の日本日用品店が**日本の雑貨や日本食品(お団子、お餅等)の販売**を行った。**寿司**を提供するフードトラックも出店され、日本食に親しむ機会を提供した。

## 効果



日本企業ブース出展



アメリカでお月見祭りに行ってみた！日本文化に魅かれて...  
6.6万回視聴・8日前

YouTuberによる動画投稿

- 開会式では、**フリスコ市長が開会挨拶**を行うなど、地域から歓迎されたイベントとなり、**日本コミュニティによる地域社会・経済への貢献をアピール**する機会となった。
- 参加者からは、「日本文化に親しみを持てた」、「日本のお茶やお菓子が美味しかった。スーパーで見かけたら買ってみたい。」といった声が聞かれた。
- 地元で活動する**米国人の知日派YouTuberが、お月見祭りの様子を紹介する動画を投稿、約70,000回再生され、2,500の高評価**を得ている(12月28日時点)。コメント欄にも**日米双方の視聴者からこうした交流を歓迎するコメント**が寄せられている。

## 日時等



- 実施日時: 2022年1月28日～3月31日(作成期間)
- 実施場所: SNSを通じての発信、各種イベントでの上映
- 訴求対象: ヒューストン地域在住の米国人
- 視聴回数: 1,382回 (Youtube、Facebookで発信、公開2週間後時点)

## 概要



①ラーメン



②居酒屋



③鮎・ひつまぶし



④日本食材店探訪



⑤(番外編)日本風洋菓子

- 和食を日常の食事の選択肢として捉えてもらうことを目指し、「ヒューストンで楽しむ和食」をテーマに「Washoku Roundup Houston」と題した5本の短編動画シリーズを作成。
- 題材は、典型的な和食のみならず、日本人が普段から親しんでいる料理や食事スタイル等も紹介する観点から、①ラーメン、②居酒屋、③鮎・ひつまぶし、④日本食材店探訪、⑤(番外編)日本風洋菓子の5つ選定。
- 動画は、地元和食レストランや日本食材店にレポーターが訪問し、料理人やオーナーとの会話を通じて料理を紹介する形式で進行。
- 動画は総領事館のみならず、日米協会などの日本関係団体のSNS等を通じて広く発信中。日本関係行事においても活用していく予定。

## 効果

- 動画で紹介した店以外から「動画をきっかけに和食に興味をもったと話す客が来店した」といった話も出ており、ヒューストン地域の和食を広く発信することができた。
- 継続的な発信を通じて、和食・日本食材の消費拡大、和食を通じた日本への理解促進につながることを期待。



## 日時等



## イベントフライヤー



ペンギン・ハイウェイ  
(配給: 東宝映像事業部)



サムライせんせい  
(配給: スタジオウェイブ)



やっさだるマン  
(配給: スターキャット)

- 実施日時: 2022年3月11~31日
- 実施場所: オンライン形式
- 訴求対象: テキサス・オクラホマ州在住の一般米国人
- 開催規模: 参加者・視聴者133人

- 新型コロナウイルス感染症の影響により対面イベントの実施が困難な状況に鑑み、**日本映画を通じたアウトリーチ**として開催。
- 近年制作の日本映画3本を1週間ずつオンラインプラットフォームを活用して配信上映。
- **日本らしさが感じられるポップな実写作品、親子で楽しめるアニメーションを選定し、日本の映画芸術を発信**。さらに、作品中の描写を通じて、日本文化や社会について理解を深める機会を提供。
- Facebookを活用した広報により、日本語学習者などの日本関心層以外の一般層にも訴求。

- 参加者アンケートでは全ての回答者がイベントに満足、**84%が対日理解の促進につながったと回答**。日本映画のエンターテインメント性を評価する声や、**日本文化や根底に流れる価値観をより深く理解できたという声**が寄せられた。
- 総領事館Facebookの広報記事は、**エンゲージメント数が1,800回を超え、累計68回シェア**されたほか、**フォロワーが54人増加**になるなど、日本関心層の拡大につながった。

## 概要

## 効果

## 日時等



村林ヒューストン総領事



落語家の桂三輝氏



Absorbing Japanese Culture



- 実施日時: 2022年3月12日(土)
- 実施場所: オンライン形式
- 訴求対象: テキサス州内日本語学習者
- 開催規模: 参加者・視聴者数430人

- **テキサス州の主要4都市圏**(ヒューストン、ダラス・フォートワース、サンアントニオ、オースティン)における**地区大会の上位成績者を対象に、日本語スピーチコンテストを開催。**
- 全米大会出場を決める**高校生フリースピーチ部門のほか、詩の暗唱、俳句、大学生フリースピーチ、オープン**の5部門について、出場者がそれぞれの学習レベルに合わせて日頃の学習の成果を披露。
- カナダ出身の**落語家である桂三輝(かつらサンシャイン)氏がスペシャルゲストとして登場し、落語小話を披露。**また、元JET参加者による日本での経験紹介など、**日本文化について理解を深める機会も提供。**

## 概要

## 効果

- 全体で430人、出場者・大会関係者を除くと**370人の配信視聴者を獲得**することができた。
- 出場者からは、「他の出場者の実力を聞いて刺激を得た、更に日本語の勉強をがんばりたい」といった前向きなコメントが聞かれた。
- ヒューストンの日本関連団体が広く運営に参加することにより、**日本コミュニティが一丸となって日本語学習者を応援していることをPRする機会**となった。

## 日時等



大森  
ボストン総領事

- 実施日時: 2021年5月6日(木)
- 実施場所: オンライン形式
- 訴求対象: 日系企業
- 開催規模: 72名

## 概要



コネティカット州  
ラモント知事

- ジェトロ・ニューヨークとの共催により、日系企業を対象に**コネティカット州の投資環境についてのウェビナー**を開催。
- 冒頭、**ラモント州知事**が挨拶し、同州は日本と同様に経済、教育水準が高い一方で、ボストンやニューヨークよりも低コストでビジネスに最適な地域であること等が紹介された。
- 州経済開発機構(AdvanceCT)から**州の投資環境**について、州政府の各当局からは同州が推進する施策についての紹介がなされた。製造業担当当局からは、**洋上風力、蓄電池等の環境・エネルギー関連の産業育成に向けた施策**について、保険・金融担当当局からは、**先進技術(AI、ブロックチェーン)の活用に関する取組**、バイオサイエンス担当当局からは、**大学間の連携や技術移転による起業等を通じた産業育成の取組**が紹介された。



コネティカット州  
クーパー製造部門  
最高責任者



コネティカット州  
ホシヴァー  
BioCT 社長兼CEO

- **ラモント州知事**を始め州政府の要職から直接同州の投資環境をアピールする機会を提供し、**今後の両地域の経済関係強化につながる取組**となった。
- 日系企業からは、**コネティカット州の投資先としての魅力を、改めて認識する機会**となり、**大変参考になった、との感想**が寄せられた。
- 名誉領事の協力の下、現地市長ら自治体関係者等を巻き込んだ日系企業の対米投資に関する議論を踏まえて実現した事業であり、**コネティカット州政府だけでなく自治体関係者など多くの有力者に日系企業の投資による貢献を直接印象付けることができた。**

## 効果



河本JETROニュー  
ヨーク事務所長

## 日時等



ウェビナーの  
フライヤー  
イメージ①

- 実施日時: 2021年6月29日(火)
- 実施場所: オンライン形式
- 訴求対象: 非日系スタートアップ企業、日系企業
- 開催規模: 50名

## 概要



ウェビナーの  
フライヤー  
イメージ②

- ケンブリッジ・イノベーション・センター(CIC)ジャパン・デスクとの共催により、**日本企業のデジタルトランスフォーメーション**が非日系スタートアップ企業にどのような機会を創出するかについて議論するオンライン・イベントを開催。
- 基調講演では、米コンサルティング企業AZCAと日本能率協会が2020年に行った日本企業のデジタルトランスフォーメーションに関する調査結果について概説。
- 日系企業(**Hitachi America**)、日本市場に進出した米系スタートアップ企業(**Loop**)、海外スタートアップ企業の日本参入や日系企業との連携を支援する企業(**Anchorstar**)によるパネルディスカッションを行った。



大森  
ボストン総領事

## 効果



パネル  
ディスカッション  
の様子①

- ボストン総が2018年以來サテライト・ブースを継続的に設置しているCICとの協力の一環で実現したウェビナーであり、本事業を通じて**日系企業と現地企業との交流が更に強化**された。
- オンラインの利点を活かし、米国にとどまらず欧州へも日系企業の取組が発信され、**対面セミナーだけでは訴求できなかった地域への発信が実現**。
- 日本企業のデジタルトランスフォーメーションの現状や課題を伝え、日本におけるデジタル化の加速が、優れたデジタル技術や人材を有する非日系スタートアップ企業にとってビジネス機会となることをアピールし、**日本への直接投資促進を支援**。



パネル  
ディスカッション  
の様子②

## 日時等



入賞作品①

- 実施日時: 2021年11月～2022年1月
- 実施場所: 米ニューイングランド地方(コネティカット州、メイン州、マサチューセッツ州、ニューハンプシャー州、ロードアイランド州及びバーモント州)
- 訴求対象: 日本語を学習している小中高生
- 応募作品数: 総計144



入賞作品②

- **米国ニューイングランド地方で日本語を学習する小中学生を対象に、2022年の干支である寅と新年のあいさつを入れた手書き及びデジタル作成の年賀状のコンテストをボストン総領事館主催で実施。本年度で9回目の開催。**
- ニューイングランド地方で日本語クラスを開講している小中高15校に応募要項を送付し、各校の日本語クラスの教員の協力を得て、作品を募集。
- ボストンの美術館、博物館、日本文化関連団体、日系企業関係者等による審査によって、小学生・中学生・高校生の部門ごとに入賞作品(1位～3位)を決定。



入賞作品③

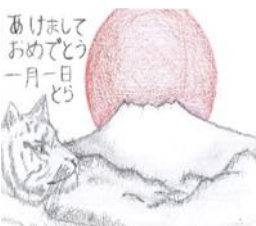
## 概要



入賞作品④

- 入賞作品は、ボストン子ども博物館の京都の町家設置エリア及び在ボストン日本国総領事館のホームページ等にも掲載され、**ボストン地域の人々に対する日本文化紹介の一端を担った。**
- ニューイングランド地方の小中高で日本語を学んでいる生徒に年賀状作成の機会を提供することにより、**日本語学習と日本文化の普及に貢献した。**

## 効果



入賞作品⑤

### 日時等



- 実施日時: 2022年1月19日(水) 18:00-19:15
- 実施場所: オンライン形式
- 訴求対象: 日米のスタートアップ企業、日系大企業、研究者
- 開催規模: 約70名

### 概要



紹介された技術①  
(Ava Robotics社)



紹介された技術②  
(Ubiros社)



紹介された技術③  
(ソフトバンク・ロボティクス社)



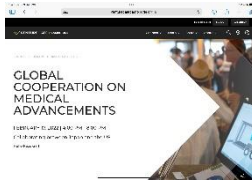
紹介された技術④  
(三菱エレクトリック・オートメーション社)

- CIC(ケンブリッジ・イノベーション・センター)ジャパン・デスクとの共催により、**日米のロボット開発・事業の紹介及び比較**を行うとともに、**今後のロボット活用**について議論するオンライン・イベントを開催。
- **米国側からスタートアップ企業2社、日本側から米系スタートアップ企業等とのオープンイノベーション**に取り組んでいる**2社**がパネリストとして参加。各社が展開しているロボティクス事業についてプレゼンテーション。
- **ロボットの開発・事業、技術面の動向**、パンデミックの影響、及びそれに付随する労働力不足や労働力移動への対応(ロボットによる単純労働の代替)、AIの導入により期待される高機能化等について議論。

### 効果

- 新型コロナウイルス感染症のまん延もあり、顧客側にロボットを受容する動きや活用のために投資をする傾向が見られるなど、**ロボットの開発・事業が今後大きく発展する可能性がある**ことを、**製造業、ハードウェア、メディカル・医薬・バイオテクノロジー**など様々な産業分野の参加者に対し発信すると同時に、日米のロボティクス事業の企業事例をPRすることができた。
- ディスカッションにおいても、**日系スタートアップ企業の米国での事業展開や日本市場への参入についての質問**といった、**今後の日米のビジネス発展**につながる発言があるなど、**日米間のオープンイノベーションへの関心の高さ**が伺えた。また、**IOTやAI等の他の技術との組み合わせによる進化等**、今後の新たな可能性を示すことができた。

## 日時等



イベントフライヤー

- 実施日時: 2022年2月17日(木)
- 実施場所: オンライン形式(Remoアプリ上で配信)
- 訴求対象: 日米における起業家、企業、投資家などのイノベーション関係者
- 開催規模: 約100名

## 概要



参加企業の様子①



参加企業の様子②

- 在ボストン日本国総領事館がサテライト・ブースを運営するケンブリッジ・イノベーション・センター(CIC)ジャパンデスクおよびJETROとの共催により、**日米の医療技術の開発や医療に関する法規制の紹介を行うとともに、CICジャパンデスクのプログラムに参加するスタートアップ企業が自社商品やサービスをプレゼンするピッチイベントを開催した。**
- 医療技術の紹介では、主に高齢化問題に焦点を当て、老化現象の最新の研究内容や高齢者施設等で使われるビデオチャットサービスやケアロボットの紹介が行われた。
- ピッチイベントでは、日本のスタートアップ企業10社が各社の医療技術・サービスに関するプレゼンを行い、ボストンの専門家によるフィードバックを受けた。

## 効果



ネットワーキングの様子①



ネットワーキングの様子②

- 医療における先端的技術の活用事例の紹介およびスタートアップ企業のサービスの紹介を通じ、**この分野における日本企業のプレゼンス、日本企業とのコラボレーションの魅力**を、ボストンの起業家、投資家など、イノベーション創出に関わる関係者に広くアピールすることができた。
- 新しい資本主義が推進する**デジタルトランスフォーメーション**をはじめとした**民間イノベーション**について議論を深める契機となった。
- また、ネットワーキングイベントでは、Remoアプリのバーチャルスペースを通じて、**日米の参加者が、各コミュニティスペースを移動して、連絡先交換などが積極的に行われるなど、今後のビジネス活動の発展が期待される。**

## 日時等



当日の様子①

- 実施日時: 2021年11月18日(木)  
※動画公開は2022年1月25日
- 実施場所: 在ホノルル日本国総領事館 総領事公邸
- 訴求対象: 在ホノルル総管轄地域の米国人
- YouTube視聴回数: 約700回(2月20日時点、動画公開から約1ヶ月)



当日の様子②

- 試食イベント: ハワイで活躍する**インフルエンサー(3名)**を招待し、公邸料理人がハワイの日系企業(**サンヌードル、アロハ豆腐、islander sake brewery**)の食材を活用した和食料理を振る舞った。**日系企業支援**とともに、新しいスタイルの和食を提案することにより、**和食の魅力再発見**にも繋がった。
- 動画作成: 試食イベントの様子に加えて、**日系企業の工場や社長の想いも取り入れた動画**を作成し、ホノルル総領事館のYouTubeで発信した。
- 情報発信: 作成した動画をハワイのメディアやホノルル総のSNS(Twitter・Facebook)を通して積極的に発信し、多くの人にリーチできるように**対外発信を強化**。さらにインフルエンサーから日本企業の製品やそれらを活用した和食を各自のSNSで情報発信を行うことで、より一層幅広い層にリーチを行う。

## 概要



日本食の様子



SNS発信①

- **YouTube**では、動画公開から約1ヶ月で、**約700回(2月20日時点)の視聴回数を得られ**、広く日本企業支援や、和食文化を広める機会となった。
- **参加したインフルエンサーの3名が**、今回のイベントおよびYouTubeについて**合計14ポストを投稿し、日本食及び日系企業の認知拡大につながった。**
- ホノルル総のFacebookで今回の取り組みを紹介したところ、**約10,000人にリーチし、約900のエンゲージメント**を得た。

## 効果



SNS発信②



日時等



会場の様子①  
 2021年7月19日  
 Idahopressより

- 実施日時: 2021年7月23日(金)
- 実施場所: アイダホ州ボイシー市  
 Jack's Urban Meeting Place (JUMP)
- 訴求対象: アイダホ州及びボイシー市要人、  
 地元市民
- 開催規模: 5,000名(主催者報告)

概要



会場の様子②



会場の様子③

- 東京五輪開会式当日、アイダホ州都ボイシー市のイベント施設にて**日本祭**を開催。地元テレビ局による会場中継が五輪開会式とともにテレビ放映され、会場の屋外大画面にも投影された。
- 午前中には屋内ホールにて**市長や州議会議員**等を招いた**日米ビジネス交流会**を開催し、**日系企業(日立ハイテク等)**からアイダホ州での活動状況について紹介した。2019年のJALD(日系人訪日プログラム)参加者が全米から集まり同招へいプログラムを紹介。ミニドカ日系人収容所の展示コーナーも設置した。
- ステージでは和太鼓や剣道が披露され、書道や折り紙体験、子供向けに運動会形式のミニスポーツ(表彰台を設置)を実施。
- **在ボイシー名誉領事**より事業実施にあたっての調整に関して協力を得た。

効果



会場の様子④



会場の様子⑤  
 2021年7月19日  
 Idahopressより

- イベント後には、**日本への投資相談**に加え、紹介した**成田市**(輸出促進PRのため参加希望あり)との**経済対話**、ボイシー州立大学での**日米産学連携研究の相談**等具体的な対話が始まっている。
- 州上院議員、州商務長官、ボイシー市長等が参加。
- 会場はイベント終了まで盛況となり、日本とアイダホ州の経済関係の重要性についてコメントした**滋賀事務所所長のインタビュー映像**もテレビ放映(KTVB:アイダホ州のテレビ局)された。

### 日時等



- 実施日時: 2021年10月28日(木)(セミナー)  
2022年1月27日(木)(商談会)
- 実施場所: オンライン
- 訴求対象: 米国へ日本酒輸出を期待する酒蔵、卸
- 開催規模: セミナー: 70名、商談会: 酒蔵等5社+インポーター5社

(セミナー案内)



(商談会案内)

- **国税庁酒税課と協力し、日本産酒類輸出促進コンソーシアム**の会員企業に対して、米国における日本酒を巡る状況のセミナー及び商談会を企画。
- 本セミナーでは、在ポートランド領事事務所と日本酒の魅力発信活動を行う「酒サムライ」(Marcus Pakiser氏)が日本語での対談を行い、**米国内小売りやレストランでの日本酒販売状況や売れ行き商品、トレンドを紹介。**
- 商談会は、1対1の個別商談の形式ではなく、酒蔵等5社(山梨、長野、新潟、岩手)が自社商品をインポーターに対し順にプレゼンし、イベント後にインポーター側から関心のある酒蔵に連絡する**ピッチ方式**で実施。

### 概要



セミナーの様子①



セミナーの様子②

### 効果

- セミナーでは、参加者から、**パンデミックの影響で現地出張が困難な中、米国内小売や外食店の現状や、コンテナ遅延の影響など直近の様子を聞くことができた等の好意的な評価があった他、これまで参加した日本酒関係のセミナーで最も手応えがあったとのコメントを得た。**
- 商談会では、**他酒蔵のプレゼンを「横」で聴くことが刺激**になり、今後の売り込みの参考にできたとの反応があった。イベントに参加したインポーター各社とも、**イベント後の商談**が進み、日本産酒類の輸出促進に貢献するイベントとなった。

## 日時等



(セミナー案内)

- 実施日時: 2022年1月26日(水)
- 実施場所: オンライン
- 訴求対象: 国際交流を検討中の日本の自治体や大学関係者
- 開催規模: 日本側15名、ボイシー市側9名

(JET参加者による  
アイダホ日本祭り  
の紹介)

- 全米で人口増加率の最も高い州の一つであるアイダホ州の州都ボイシー市の魅力について、新たな国際交流を検討中の我が国自治体や大学関係者に紹介するイベントを開催。
- ポートランド領事事務所、ボイシー市役所、ボイシー州立大学が**日本語の座談会形式でボイシー市を紹介**。相手方の顔が見えることで**相互コンタクトを取りやすいイベント**となるよう工夫。
- 日本語話者の大学教授のほか、**JET参加者やJET参加希望者など、同市で日本語に取り組む若者も参加**し、ボイシー市の親日的な雰囲気をも日本側にアピールした。
- 外務省が発行するグローバル通信に本件イベント案内を掲載し、日本国内へも広く発信。

## 概要

マイクロン 総務本社  
米国エネルギー省  
アイダホ国立研究所(アイダホ主要企業の  
紹介)

- 日本からは**市長や市議会議員の参加**もあり、イベントを通じて顔を合わせた参加者同士で、**留学生交換に関する覚書、大学活動のより詳細な情報交換、将来的な姉妹都市提携も見据えたオンラインでの学生交流についての相談が開始されている**。
- 本イベントを知ったアイダホ州他都市からも**在ボイシー名誉領事宛に同様の取り組みができないか相談が**届くなど、今後につながる取組となった。

## 効果

(アイダホの人口  
増加率を紹介)

## 日時等



イベントフライヤー

- 実施日時: 2022年3月16日(水)
- 実施場所: オンライン
- 訴求対象: ポートランド市計画・持続可能性政策局、大学及びNPO等、高齢社会問題に携わる米国市民
- 開催規模: 100名

## 概要

シニア世代の技術と  
ニーズをマッチさせる  
実証事業

- **東京大学高齢社会総合研究機構**の秋山弘子名誉教授を講師に招き、講演とパネルディスカッションを実施。
- 講演では、同機構が千葉県柏豊四季台で取り組む長寿社会の街作りについて紹介。高齢者の地域活動をサポートしつつ労働力不足の解消を図る**ウェブ・プラットフォーム**や、パワーツの活用事例など、**デジタル技術を用いて課題解決を図るというデジタル田園都市国家構想に資する具体例**を紹介。
- 現地老年学学者(ポートランド州立大学名誉教授)とポートランド市役所の**高齢社会対応型街作りを担うプログラムマネジャーがパネリスト**として参加。

## 効果



講演の様子①



講演の様子②

- **現地大学及び市役所関係者とイベント企画段階から協力**を重ね、通常の文化行事等に参加したことのない層や、高齢社会問題に関心を有する幅広い層へ訴求することができた。ハワイ等他州からの参加もあった。
- 日本の高齢社会の状況と**技術を使った課題解決状況**について学べる有意義な機会であったとの評価が得られた。
- ポートランド市役所及び州立大学から、ポートランドの街作りと日本のデジタル技術を**相互に活かす契機にしたい**との意見が寄せられた。

## 日時等



- 実施日時: 2021年7月20日(火)
- 実施場所: フロリダ州フォートローダーデール市
- 訴求対象: 南フロリダ在住の米国人
- 開催規模: 100名程度

## 概要



- フォートローダーデール市国際姉妹都市委員会の主催により、**東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催をお祝いすることを目的として開催されたレセプション**であり、マイアミ総領事館関係者も参加。
- コロナ禍ではあったが、東京大会開催を祝うために、多くの関係者が参加した。また、特別ゲストとして、**米国代表として東京パラリンピック大会の水泳競技に出場することが決まっていたアバスカリミ選手が出席し、挨拶を行った。**
- 南フロリダを中心に活躍する「**府州太鼓**」による**太鼓演奏**が行われ、会場は大いに盛り上がりを見せた。また、マイアミ総領事館としては、当地の人々にPRするため、**日本酒の提供**を行うとともに、**日本文化である鑑割り**も行った。

## 効果

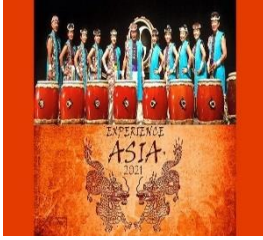


デール・ホルネス市議会議員  
(当時)と足立総領事代理



- フォートローダーデール市のデール・ホルネス市議会議員(当時)も出席し、**日本と米国(南フロリダ)における有力者とのつながりを強化**することにつなげることが出来た。
- 府州太鼓の演奏により、会場の人々に日本文化である太鼓の魅力を伝えることが出来た。
- 複数のメディアにも取り上げられ、**東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催について、南フロリダの人々を中心に広報**を行う契機となった。

## 日時等



- 実施日時: 2021年9月25日(土)
- 実施場所: フロリダ州タラハシー市
- 訴求対象: 北フロリダ地域の米国人
- 開催規模: 12,500人

## 概要



中井総領事より挨拶



- エクスペリエンス・アジアは例年、Asian Coalition of Tallahasseeが主催しており、今回で17回目を迎えた。アジア各国の人々による特設ステージでのパフォーマンスやブース展示等が行われ、**中井総領事が出席し、挨拶**を行った。
- 二つの舞台上でアジア各地域の踊りなどが紹介された他、日本代表としてフロリダのディズニーワールドでもパフォーマンスを行っている「**祭座**」による**演奏**が行われ、会場は大いに盛り上がりを見せた。
- また、日本文化を紹介する**ブースでは書道の名前書きや七夕飾り**などを実施した。

## 効果



- お祭り当日は、地元のテレビ局においてお祭り開催について放映があったこともあり、まだ新型コロナウイルス感染症が流行している状況の中、12,500人もの来場者があった。
- 日本ブースへの来訪者については例年以上の数となり、**フロリダ州の人々の日本文化に対する高い関心を集めることが出来た。**
- 日本ブースでは、日本語を学習する学生ボランティアが手伝ってくれるなど地域との交流が生まれ、**多くの人々に日本文化に触れてもらうとても良い機会**となった。
- 当日の写真をマイアミ総領事館のSNSに投稿し、多くのフォロワー等に見てもらえた。

### 日時等



- 実施日時: 2021年10月14日(木)
- 実施場所: フロリダ州セント・ピーターズバーグ市
- 訴求対象: セント・ピーターズバーグ市民
- 開催規模: 150名程度

### 概要



リック・クライスマン市長と  
中井総領事



- 香川県高松市とフロリダ州セント・ピーターズバーグ市は、1961年に姉妹都市提携をして以来、毎年活発な交流を続けており、**2021年には提携60周年を迎え**、セント・ピーターズバーグ市で開催された同式典に中井総領事が出席した。
- セント・ピーターズバーグ市の**リック・クライスマン市長とともに、60周年を記念するプレートの除幕式を行い**、その後、同市議会に招かれ、日米友好関係において**活発な姉妹都市交流が果たしてきた重要性等について演説**を行った。

### 効果



- セント・ピーターズバーグ市のリック・クライスマン市長との間で、**日本とセント・ピーターズバーグ市の関係強化について意見交換を行い、今後の両市における姉妹都市交流の更なる発展について各種議論を交わす契機**となった。
- 当日の中井総領事との式典及びその後の様子についてTwitterでフォロワーを23,000以上有する**リック・クライスマン市長がツイートを行い、多くの同市の市民及び同市長のTwitterのフォロワーに対し、高松市との姉妹都市提携について広報することに役立った。**

## 日時等



- 実施日時: 2021年10月23日(土)
- 実施場所: フロリダ州ペンサコーラ市
- 訴求対象: 在日米軍在勤経験を有する米軍関係者及びその家族等
- 開催規模: 100名程度

## 概要



ジェームス・ディー・ケリー氏  
(前在日米軍司令官)



菅井防衛駐在官



中井総領事

- ペンサコーラ市は大きな都市ではないものの、地理的条件等から**軍事基地が多く、日本駐留経験のある軍関係者が多く在住**している。例年、在日米軍経験者とのネットワーク構築・強化事業として、ペンサコーラ市を中心に活動している北西フロリダ日米協会主催、米国笹川平和財団、全米日米協会連合会及びマイアミ総領事館が協力の下で実施している。
- 本年の式典では、**前在日米軍司令官ジェームス・ディー・ケリー氏、在米国日本大使館防衛駐在官、中井総領事より基調講演**が行われた。
- 最後に、**全米日米協会連合会会長のピーター・ケリー氏より、閉会の挨拶**が行われた。

## 効果



- ペンサコーラの地域では、軍関係者含む多くの関係者が同式典開催に積極的に協力をしており、**毎年継続的に開催することで、こうした協力関係そのものが、同地域に在住する日本人と在日米軍関係者との交流促進につながっている。**
- 当日の様子を**SNSへ投稿**することで、マイアミ総領事館のフォロワー含め、**在日米軍経験者との交流事業についてより多くの認知につながった。**



## 日時等



- 実施日時: 2021年11月7日(日) 11時~17時
- 実施場所: フロリダ州キシミー市
- 訴求対象: 中央フロリダ地域の米国人
- 開催規模: 約9,000人

## 概要



- オープニングでは、**オーランド太鼓道場**や**祭座**などで構成された**総勢約100名による太鼓パフォーマンス**が**実施**され、多くの来場者が同パフォーマンスの迫りに魅了された。
- 中井総領事が挨拶を行い、主催者であるオーランド日本人会と同祭のスポンサーとなっているフロリダを拠点に営業を行う**日系企業 (Classic MAZDA ORLANDO、MITSUBISHI POWER、TACHIBANA-YA、ACT America)**などに対し**感謝の言葉**を伝えた。
- その後も、ステージ上では**日本舞踊、空手、琴**などのパフォーマンスの披露、また、メインイベントとして**コスプレコンテスト**が行われ、会場からは各コスプレイヤーに対し、大きな拍手が起こっていた。
- 昨年は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの実施となったが、今年は感染状況等を踏まえ、関係者の協力に基づき、しっかりと感染予防策を講じたうえで現場での実施が可能となった。

## 効果

- 地元メディアへのプレスリリース等により、**5件のメディア**において、**オーランド日本祭開催に関する情報発信**を行うことが出来た。また、同祭を実施した地域をカバーする**ケーブルテレビ局 (月間視聴数610,778人)**において、**当日夜にお祭り時の映像が放映**されるなど、**大きな反響**があった。
- スポンサーの**日系企業**からは、日本に関心を抱く**来場者**に**アピール**する機会となり、その結果、自社の**SNS**の**フォロワー数、エンゲージメント数**及び**閲覧数の増加**につながり、**企業の認知度及びイメージ向上**に繋がったとの話があった。
- 新型コロナの影響がまだ残る状況の中、例年と同等もしくはそれを上回る約9,000人の来場者があり、**日本及び日系企業をPRするととても良い機会**となった。
- 主催者の話では、日本食ブース(ラーメン、牛丼、かき氷、たい焼き等)の売り上げが例年の1.5倍から2倍以上となり、**日本食の認知度向上及び普及等に貢献した**。

### 日時等



小切手のパネルを手渡す様子

- 実施日時: 2021年12月1日(水)
- 実施場所: フロリダ州マイアミ市
- 訴求対象: フロリダ国際大学日本関係クラス及びプログラム関係者
- 開催規模: 15名程度

### 概要



中井総領事



スクロミ・ディナー  
国際公共問題学部副学長



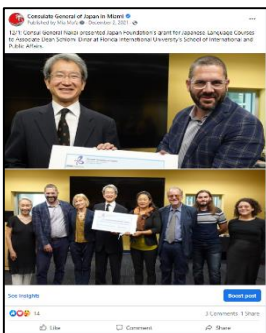
パスカル・ベセル  
現代語学部長



スティーブン・ハイン  
アジア研究部長

- フロリダ国際大学公共問題学部現代語学科の日本語コースに対する国際交流基金からの助成金贈呈式が行われ、中井総領事が出席した。
- 中井総領事から挨拶を行った後、**国際交流基金より送付のあった小切手のパネルを、スクロミ・ディナー国際公共問題学部副学長へ渡すセレモニー**を実施。
- その後、出席者の**スクロミ・ディナー国際公共問題学部副学長、パスカル・ベセル現代語学部長、スティーブン・ハインアジア研究部長**より挨拶が行われ、**国際交流基金からの日本語コースに対する助成金への感謝の意**が伝えられた。

### 効果



- フロリダ国際大学は、20年以上前から日本語クラスをスタートした。関係者の話では、当初の日本語クラスの学生数は20名程度だったが、日本語クラスを教えている**日本人講師の努力により着実に受講者数は増加**し、現在では400人以上の生徒が日本語クラスや日本に関連した文化のクラスを受講しており、今回の**国際交流基金からの助成金により、更なる日本語受講者の増加につながる**ことが期待できる。
- 式典の様子をマイアミ総領事館のSNSに投稿したところ、多くのシェアやコメントがあり、大きな反響があった。

## 日時等



- 実施日時: 2022年1月22日(土)
- 実施場所: フロリダ州ペンサコーラ市
- 訴求対象: 北西フロリダの市民
- 開催規模: 200名程度

## 概要



中井総領事より挨拶



- 北西フロリダ日米協会が主催する新年恒例の行事であり、マイアミ総領事館からも例年幹部が出席し挨拶等を行っている。
- 昨年は新型コロナの感染拡大の影響により、オンラインによるビデオ配信となったが、今年は感染状況を踏まえ、現地で実施が可能となった。
- 冒頭、北西フロリダ日米協会会長のビル・キューリック氏より歓迎の挨拶が行われた後、中井総領事が挨拶を行った。
- その後、舞台上では「祭座」による太鼓演奏が複数回実施され、会場では文化品の展示や日本食の販売等が実施された。

## 効果



- 同新年会はフロリダ州北西部における日米の草の根交流を行う貴重な場となっており、マイアミ総領事館からは遠方に位置する場所であるが、マイアミ総領事館が毎年継続的に出席を行うことで、北西フロリダ地域における日本のプレゼンス強化に貢献することができた。
- 新年会当日の写真をマイアミ総領事館のSNSに投稿し、多くのフォロワー等に閲覧してもらうことができた。

### 日時等



テラサキ武道館

- 実施日時: 2021年4月30日(金)
- 実施場所: オンラインでのリリース
- 訴求対象: ロサンゼルス総領事館管轄地域の若手層を中心とした米国人
- 開催規模: YouTube視聴回数485回(2022年6月1日時点)

### 概要



**Casey Wasserman**  
LA28 Chairperson

ケイシー・ワッサーマン  
ロサンゼルス五輪組織  
委員会会長



**Renata Simril**  
President & CEO, LA84 Foundation

レナータ・シムリル  
LA84財団会長

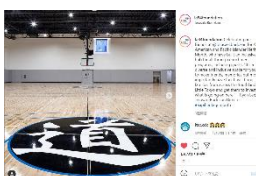


**Sakura Kokumai**  
Olympian / Karateka

東京2020大会空手  
米国代表の國米選手

- 2028年のオリンピック開催地であるロサンゼルスにおいて、東京2020大会開会3カ月前の時宜を得て、「**スポーツを通じてつながる日系コミュニティとロサンゼルス**」をテーマとしたプロモーションビデオを作成。
- 2020年10月にリトル東京に完成した複合スポーツ施設である「テラサキ武道館」との共催事業。
- ビデオには、**2028年ロサンゼルス五輪組織委員会ケイシー・ワッサーマン会長**や、1984年ロサンゼルス五輪の収益によって運営されている**LA84財団のレナータ・シムリル会長**に加え、東京2020大会の空手米国代表である**國米櫻選手、日系4世バスケットボールチーム**等の若手アスリートも出演した。

### 効果



- LA28組織委員会やLA84財団のウェブサイト及びSNSでも拡散されたことで、幅広い視聴者層にオリンピック開催地としての東京とロサンゼルスの共通項を発信でき、**対日理解の深化及び中長期的なインバウンド促進**に貢献した。
- ロサンゼルスにおける日系人社会の新たな誇りとも言えるランドマークである「テラサキ武道館」との共催にて、**若年層をターゲットとしたビデオを作成することで、経済的な観点からも日米関係強化への貢献が期待される若年層の親日派・知日派育成の機会**となった。

## 日時等



- 実施日時: 2021年10月24日(日)
- 実施場所: ジャパンハウス(ロサンゼルス市)
- 訴求対象: カリフォルニア州ロサンゼルス地域映画関係者
- 開催規模: 48名

## 概要



ロサンゼルス総領事



ジャパンハウス海部館長



レオナード・マルティン氏  
と細田守氏の  
トークセッション

- アニメ映画祭“Animation is film festival”の機会をとらえて、ロサンゼルス総領事、ジャパンハウスロサンゼルス館長より日本アニメーション及び日本文化の素晴らしさを紹介した。
- 米国人**映画評論家レオナード・マルティン氏とアニメ映画監督細田守氏によるトークセッションを実施**。本映画「BELLE」のルーツとなっているウォルトディズニーの「美女と野獣」をトピックに上げ、**日米間の繋がりや、米国人と日本人の観客の違い、監督自身の哲学など、日本映画の理解促進に繋がる内容**となった。
- トークセッション後にはハリウッドの映画関係者との関係構築を図るレセプションを実施した。

## 効果



レオナード・マルティン氏  
と細田守氏の  
トークセッション



レセプション

- 通常であればハリウッド映画関係者へ直接アプローチすることは、ハードルが高いことであるが、本イベント及びレセプションを通して、**監督及び日本映画をプロモートし意見交換の場を創出、日本映画界の経済を盛り上げるアカデミー賞獲得(来年3月)に向けた取り組みのサポートのオファーがあるなど有意義な機会**となった。
- 参加者からは、「実際に監督に会い、本人から映画・アニメに対する考えやこれからの展望を聞き、これからより注目していきたい」、「日本のコンテンツの面白さを感じることができた」等、高い関心が寄せられ、**日本のコンテンツビジネスを浸透させる好機**となった。

## 日時等



Go to market

Go to market

- 実施日時: 2022年1月～3月
- 実施場所: オンライン
- 訴求対象: ロサンゼルス総領事館管轄地域の米国人(総領事館ウェブサイトやSNS等での発信、総領事館主催イベント等での上映)
- YouTube視聴回数: 507回(2022年6月18日時点)

## 概要



撮影の様子

- 新型コロナウイルス感染症により、新規顧客の獲得や米国企業との新たなネットワーキング、政府・企業関係者とのコンタクトで一層の困難に直面している日系企業に、**在ロサンゼルス総領事館と連携した企業PR機会を創出し、同時に日本の先進的分野を示すビデオを制作。**
- 5つのテーマ(「**気候変動**」、「**デジタル&スタートアップ**」、「**ダイバーシティ**」、「**SDGs**」、「**メタバース**」)に焦点を当てた取り組みを簡潔に紹介する新しい動画を制作。
- SNS等を通じた**一般米国人へのPR**の他、**総領事館**で実施する会食の前後における**ビデオの投影を通じて日系企業の技術力やビジョンを共有し、関連企業や政府関係者との新たな案件形成を支援。**

## 効果



Takehito Yokoo | Member Executive Engineer | Japanese Hydrogen Forum



制作ビデオ(一部)

- 在米日系企業15社によって設立された日本水素フォーラム(JH2F)を取り上げ、南カリフォルニアでの日系企業の活動事業、貢献等を米国企業、加州副知事含む政府高官へ周知。他州(ノースダコタ州、ハワイ州)からも**技術協力要請や意見交換の依頼を受ける**など**企業活動の発信に大きく寄与。**
- 2022年2月に新たに登記を行ったデジタルインフラ技術を有する日系企業の取り組みを紹介することを通じて**ロサンゼルス市交通局との新たなビジネスマッチング**に寄与。その後、具体的な実証実験の案件形成に。

## 日時等



- 実施日時: 2022年2月10日(木)
- 実施場所: アリゾナ州フェニックス市アリゾナ州立大学サンダーバード国際経営学院
- 訴求対象: 在ロサンゼルス総領事館管轄地域の米系・日系ビジネス関係者、政府・経済団体関係者等
- 開催規模: 当日40名が対面で参加(約130名がオンライン参加)

## 概要



マーク・ケリー連邦上院議員



ガイエゴ・フェニックス市長との面会



カグラム・サンダーバード国際経営学院学長



イベント会場の様子



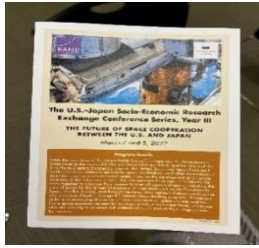
日系企業プレゼン

- 「半導体セキュリティとサプライチェーンにおけるアリゾナの役割の拡大～グローバルな投資と日本からの視点～」と題したラウンドテーブルを実施し、全米において半導体サプライチェーンのハブとして成長しつつあるアリゾナ州の重要性と関連分野で活躍する進出日系企業の活動を紹介。
- マーク・ケリー連邦上院議員からビデオメッセージの提供のほか、フェニックス市長等の政府要人が参加し、半導体産業における日本との今後の協力可能性について期待を述べた。
- 企業関係者では米側からインテル、日本側から住友ケミカルやJX金属等の企業関係者が半導体産業における日米連携やアリゾナのビジネスの魅力を紹介。

## 効果

- 世界的に半導体のセキュリティやサプライチェーンのレジリエンスの見直しが議論される中で、日米首脳間でも合意された半導体分野における日米協力の重要性をアリゾナで発信することができた。
- 本取組を毎年恒例のプラットフォームとすることでフェニックス市長及びサンダーバード学院学長から合意を得られた。
- イベント前後に実施したフェニックス市長と武藤ロサンゼルス総領事のバイ会談でも日・アリゾナ関係を強化していくことで合意した。
- イベントの様子はYouTubeにアーカイブ動画をアップロードし、約140回再生を記録(2022年6月時点)。  
<https://www.youtube.com/watch?v=WszuMwYpM50>

## 日時等



- 実施日時: 2022年3月7日(月)、8日(火)
- 実施場所: カリフォルニア州サンタモニカ
- 訴求対象: 宇宙関係研究者、企業関係者等
- 開催規模: 第1部(7日)(会場約50名、オンライン約90名)、第2部(8日)(会場約30名、オンライン約80名)

## 概要



武藤総領事の挨拶



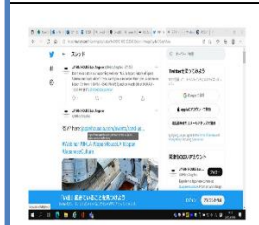
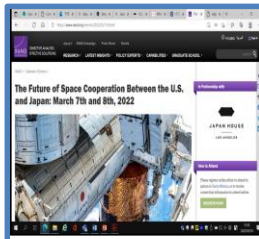
会場の様子(7日)



石井JAXA理事

- ランド研究所(本部: サンタモニカ)において、**日米間の宇宙科学・開発分野での協力の可能性について、研究者、企業関係者を交えた意見交換**を行った。サンタモニカの会場では対面で対談を行い、一部スピーカーは日本からオンラインで参加するとともに、オンラインでも視聴できる**ハイブリッド形式**で実施した。
- 第1部(7日)では、武藤顕ロサンゼルス総領事及び海部優子ジャパンハウス・ロサンゼルス館長から挨拶。**Dr. David Kipping** コロンビア大学助教授が「**月面着陸計画及び2050に向けた宇宙開発、科学の学校教育の役割**」について講演を行った。
- 第2部(8日)では、**石井康夫JAXA理事**が、「**宇宙経済と日米宇宙分野の役割: 衛星データの活用**」について講演を行った。

## 効果



ランドHPや共催のジャパン・ハウスTwitter等で広く発信

- プレゼンターの中ノ瀬GITAI社CEOは、自社製品が国際宇宙ステーションに多く搭載されているほか、2020年代半ばの月探査を目指すアルテミス・ミッションへの搭載も予定されている旨述べ、また、ウォーデン元NASAエイムズ研究センター所長は、ブレイクスルー・スターショット(光速の約20%まで加速できる技術を開発し、2100年までにセンサーや通信機器の小型パッケージをアルファケンタウリ星系に届けることを可能にする取り組み)について説明し、参加者から多数の質問が寄せられるなど活発な議論が行われた。
- プレゼンターとして出席したアーサーYouTubeチャンネルプロデューサーが本件セミナーを発信した動画(<https://www.youtube.com/watch?v=nPWuS6Ts41E>)において、113,551回(4月19日時点)の視聴を獲得し広く発信することができた。
- 本セミナーの実施により、**米国と日本の宇宙科学、開発分野について専門知識を共有し今後の連携に繋がる結果が期待できる。**



## 日時等



- 実施日時: 2022年3月11日(金)、3月18日(金)、3月25(金)、3月31日(木)
- 実施場所: オンライン
- 訴求対象: 日本語を学ぶ高校生
- 開催規模: 13校52名

## 概要



- ジャパン・ボウルは、ワシントンDC日米協会が1992年に設立した**日本語・日本文化の知識を競う大会**で、**米国をはじめとした諸外国において日本語学習者(高校生)が参加して行われる。**
- 米国各地ではワシントンDCで開催される全国大会を目指す地域大会が行われるが、本年は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、現地での大会が中止となった。そのため、3月に週1回、**日本語勉強会(オンライン)を実施**、最終週の31日には**日本文化を紹介するカルチュラルデイが開催**された。
- カルチュラルデイでは、**総領事挨拶**を始めとし、**Neo Japanese**という和楽器を使用した**音楽パフォーマンスグループによる演奏と楽器の解説**、料理家の**Yumi Komatsudaira先生によるおにぎりのワークショップ**が行われた。

## 効果



- 参加者からは、「**普段一人で勉強するよりも、日本のことを深く知ることができ、日本や日本語を勉強するモチベーションが高まった**」という**ポジティブな意見**が集まった。
- 日本への旅行、留学や仕事を希望する学生が多く、継続的に日本について学び、将来的にビジネス、学術、芸術、公共サービス等を通して日本との繋がりを望む声が挙がり、若年層の**知日派・親日派育成**及び**日本に対する関心・理解の深化**に大きく貢献した。
- 開催後に、**日米協会のSNSアカウントで当日の様子をまとめた動画を配信**し、日米関係を強化する役割を担う学生に対し広く発信できた。

## 日時等



- 実施日時: 2022年3月14日(月)
- 実施場所: ジャパンハウスロサンゼルス
- 訴求対象: 米系レストラン・バー等のビジネス関係者、メディア、エンタメ関係者等
- 開催規模: 40名

## 概要



トークセッションの様子

- **焼酎や泡盛の需要を喚起**し、輸出促進のきっかけとするため、現地の飲食業界関係者等にPRするためのレセプションを実施。
- 焼酎メーカーや日系食品卸、焼酎を製造する現地米系レストラン等がブースを設け、**参加者に商品紹介や焼酎や泡盛についての説明や試飲**を行うとともに、**ビジネスマッチング**が行われた。
- 焼酎・泡盛に関するレクチャーを行うとともに、米国人から見た焼酎・泡盛の魅力が伝わるよう、**現地で焼酎・泡盛の販売に関わる米国人によるトークセッション**を行った。
- 来場者が焼酎についてより深く理解できるよう、奄美黒糖焼酎組合と連携し、組合員4社と**オンライン中継**を行った。

## 効果



ブースでの紹介

- 参加者には地元有力テレビ局のレポーターや東京オリンピック出場者、インフルエンサーも含まれており、**強い影響力を持つ参加者にも焼酎・泡盛のPRを実施**することができた。
- 奄美黒糖焼酎組合によるオンライン中継では、仕込みの様子や周辺の豊かな自然環境を映したほか、ブースでは焼酎を使ったカクテルも提供され、**焼酎・泡盛の持つ多様な魅力を発信**することができた。
- 本イベントにより、**普段あまり焼酎を飲まない参加者に対し、焼酎・泡盛への関心を高めることができた**。「今後、焼酎・泡盛の購入やビジネスでの取扱いにつながるか」というアンケートでは、89.5%からポジティブな回答を得た。

### 日時等



- 実施日時: 2022年3月22日(火)
- 実施場所: シティクラブロサンゼルス
- 訴求対象: アジア系アメリカ人ビジネス関係者
- 開催規模: 約50名

### 概要



- 現地ではアジア系アメリカ人のビジネス関係者の存在感は投資等の面で存在感は大きいですが、米国でビジネスをするにあたっては**マイノリティであるアジア系が一丸となってビジネスの障壁を取り払うなどの活動を行う必要がある**。
- アジア系コミュニティが抱える共通の課題であり、多くのビジネス関係者が強い関心を寄せるサプライチェーンの混乱をテーマとした議論を実施。
- サプライチェーンの混乱の一因となっているロサンゼルス港とロングビーチ港の責任者を招待し、現在の港の状況や背景についての説明を実施。**港の混雑への対処や解決方法について議論**を行った。

### 効果

- FDI(海外直接投資)レポートの取りまとめ等で知られ、現地ビジネス関係者との豊富なネットワークを持つロサンゼルス世界貿易センターとの連携により、**多くのアジア系ビジネス関係者が参加した**。
- 交流イベントでは共通の課題に関する議論やネットワーキングが行われ、**アジア系の連帯の必要性を醸成**することができた。
- ビジネスプラットフォームづくりとそれを通じたビジネス目的での各国・各国企業の連携により、**日系企業の活動を活発化させ、日米経済関係の強化が期待**できる。

## 日時等



- 実施日時: 2022年3月24日(水)
- 実施場所: 日米文化会館
- 訴求対象: ロサンゼルス市及び近郊におけるアフリカ系及び日系コミュニティの有力者
- 開催規模: 75名

会場の様子



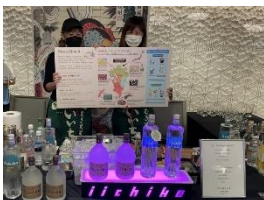
功労賞授与

- カマラ・ハリス副大統領やカレン・バス連邦下院議員を始めとする有力政治家を多数輩出するロサンゼルスのアフリカ系コミュニティは米国内での発言力と影響力が高く、同コミュニティとの関係強化は外交経済活動に不可欠。在ロサンゼルス総領事館では、2020年10月にアフリカ系コミュニティとの関係強化を目的として、日系コミュニティを巻き込んだJapan & Black L.A. Initiative を立ち上げ。
- 本活動の一環として、日・アフリカ系混合のジャズバンドによるコンサート(国際交流基金共催)と食文化体験レセプションを同時開催。
- 参加者は、現地におけるジャズを通じた日系とブラック系の交流の歴史を感じつつ、アフリカ系のソウルフード及び日系企業の協力により提供された日本食を楽しんだ。
- 参加者は両コミュニティの歴史や今後の更なる交流の重要性について議論を交わした。
- ニティア・ラマンLA市議の他、LAの公選議員事務所からの代表者が多く参加。シドニー・カムラジャー加州上院議員事務所よりイニシアチブに対する表彰状が総領事及び共催のユナイテッドメソジスト教会のナカガワ牧師に授与された。

## 概要



## 効果



レセプションの様子

- 食や音楽といった多面的な交流を体験する機会の提供を通じて、両コミュニティ間の交流を促進。
- ラマン市議を始めとするLAにおいて高い影響力を有する著名な人物が日系とアフリカ系の両コミュニティの交流の重要性を語ったことで、参加した日米関係の担い手となるアフリカ系及び日系コミュニティの有望な若者らの意識を更に高めることができ、更なる交流の礎となるイベントとなった。

# 全米日系人博物館と連携した、日系人との日系企業連携強化に係る取組

## 【ロサンゼルス総領事館】

### 日時等



- 実施日時: 2022年3月29日(火)
- 実施場所: オンライン形式
- 訴求対象: 主に日系アメリカ人(若手中心)
- 開催規模: 50名

### 概要



- 全米組織である全米日系人博物館(JANM)と連携することによって、**日系企業と日系コミュニティとの連携強化のための相互理解促進を図るオンラインイベント**を開催。冒頭、JANMアン・バローズ館長、武藤ロサンゼルス総領事が挨拶。
- 日系企業の進出間もない頃には、日系人コミュニティや有力な日系人が日系企業を支えて来た歴史やその後日系企業側が、**寄付等を通じて日系人コミュニティに利益を還元するという双方向の協力があつた歴史を振り返り、両者の活動に改めて焦点を当てる機会**を設定。
- 世代を経るにつれて日本との関係が希薄にならないよう継続的な相互の理解・交流促進をはかり、日系人コミュニティと日系企業の良好な関係構築を企業の経済活動の基盤を強化。

### 効果



- 本件主催の全米日系人博物館(JANM)は2020年4月で開館30年を迎えることを踏まえ、関係者に日系企業と日系人の相互恩恵の歴史を改めて想起させることに繋がり、**開催後1ヶ月で同イベント参加者の希望によりJANM訪問ツアーが企画されるなど継続的な案件として機能**。
- 本イベントへも参加した日系4世の若手グループについては新たに在ロサンゼルス総領事館との連携の下「LA Next Generation Japanese American/Yonsei Leaders Initiative」を立ち上げ、**若い世代の日系コミュニティへの日米関係の関心を向ける取り組みを醸成する機会**となった。
- バサラ米日カウンシルCEOなどからも同取り組みへの支援を受けており、**継続的な日系企業と日系コミュニティとの相互協力を発信する意義は大きいことを改めて認識される場**となった。